

# 盛岡赤十字病院 公的医療機関等2025プラン

平成 2 9 年    9 月    策定

## 目 次

I	盛岡赤十字病院の基本情報	2
II	構想区域の現状と課題	4
1	構想区域の現状	5
①	岩手県内の公的病院の役割	5
②	盛岡構想区域の医療提供体制の概況	5
③	人口構造の見通し	5
④	医療需要に対する提供体制	6
⑤	入院医療の現状	6
⑥	医療従事者の状況	7
2	岩手県医療構想区域の課題	7
①	病床機能について	7
②	盛岡構想区域の課題	9
③	盛岡構想区域の人口推計について	12
④	盛岡構想区域における医療施設別患者数	13
⑤	盛岡構想区域（盛岡地区二次救急病院）の救急患者数について	17
III	盛岡赤十字病院の現状と課題	19
1	基本理念	19
2	当院の現状	19
①	職員数	19
②	病床機能	20
③	在院日数	20
④	災害医療	21
⑤	救急医療	22
⑥	小児・周産期医療	23
⑦	地域医療連携	25
⑧	その他	26
3	患者状況	27
4	今後の課題	28
IV	今後の方針	29
1	地域において今後担うべき役割	29
2	今後持つべき病床機能	29
3	その他見直すべき点	29
V	具体的な計画	30
1	4機能ごとの病床のあり方について	30
2	診療科の見直しについて	31
3	その他の数値目標について	31
VI	その他	31
1	経営計画について	31
2	当院の症例数・平均在院日数について	31
3	産婦人科医療圏状況について	32

## I 盛岡赤十字病院の基本情報

医療機関名	盛岡赤十字病院
開設主体	日本赤十字社
所在地	岩手県盛岡市三本柳6地割1番地1

許可病床数	430 床 (平成 29 年 7 月 1 日現在)	
(病床の種別)	一般	430 床
	療養	0 床
	結核	0 床
	精神	0 床
	感染症	0 床
(病床機能別)	高度急性期	0 床
	急性期	364 床
	回復期	0 床
	慢性期	22 床
	休床等	44 床

稼働病床数	386 床 (平成 29 年 7 月 1 日現在)	
(病床の種別)	一般	386 床
	療養	0 床
	結核	0 床
	精神	0 床
	感染症	0 床
(病床機能別)	高度急性期	0 床
	急性期	364 床
	回復期	0 床
	慢性期	22 床

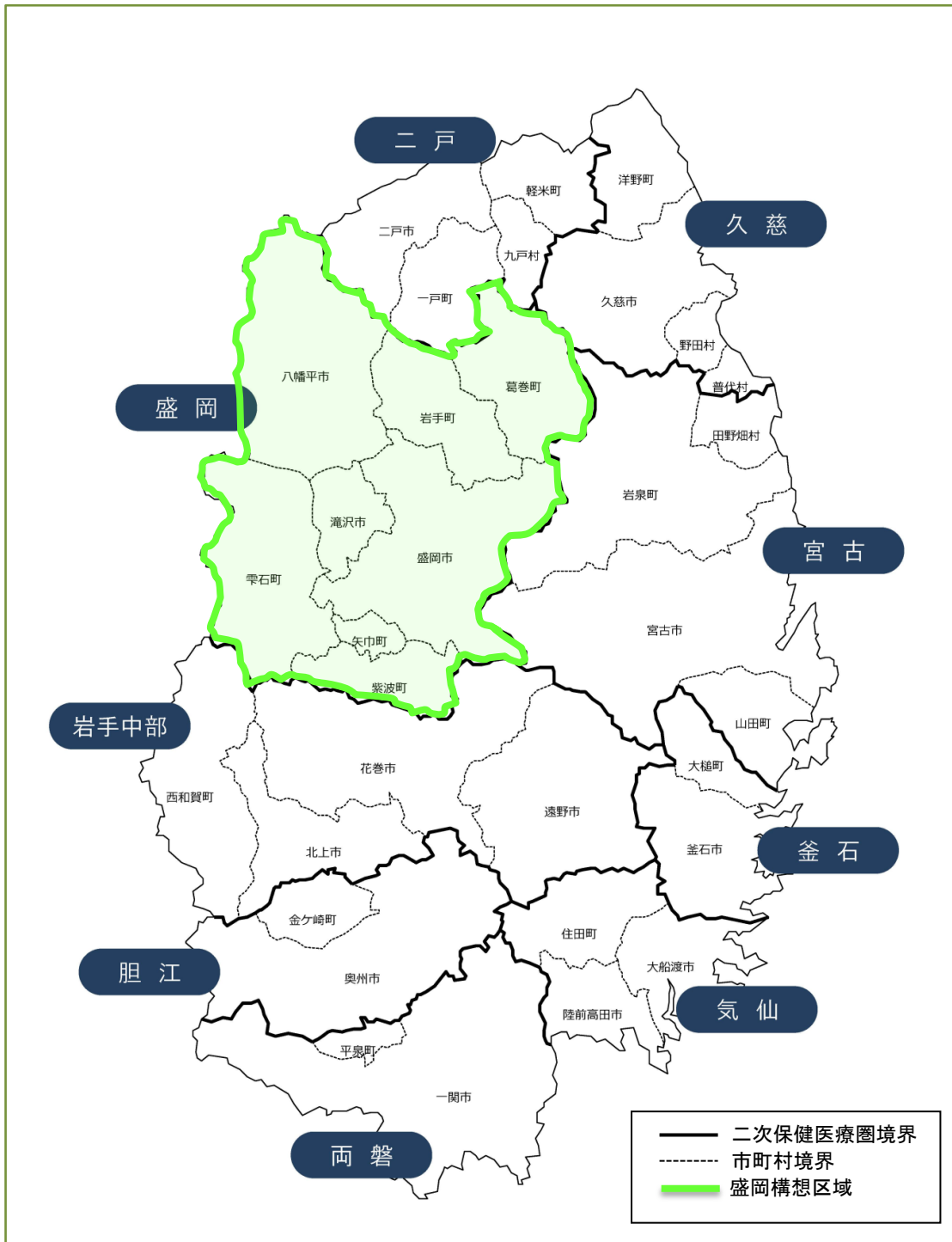
診療科目 (標榜診療科) 23 科
内科 血液内科 精神科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 外科 小児外科 緩和ケア外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 アレルギー科 リハビリテーション科 病理診断科

平成 29 年度 職員数			(平成 29 年 4 月 1 日現在)		
	職員数	医師	看護職員	専門職	事務職員
常勤職員数	566	52	342	74	98
常勤換算数	583.9	58.5	346.9	74.0	104.5

認定・指定等	
・届出入院基本料	: 7対1入院基本料（平成19年5月開始）・緩和ケア病棟入院料
・DPC医療機関群	: Ⅲ群 DPC適用（平成18年4月開始）
・主な届出事項	: 救急告示病院 第二次救急医療指定病院 岩手県基幹災害拠点病院 地域周産期母子医療センター 労災保険指定医療機関 地域医療支援病院
・主な診療報酬上の届出	: 総合入院体制加算3 在宅療養後方支援病院
・病院機能評価	: 機能種別版評価項目3rdG : Ver. 1.1 一般病院、緩和ケア病院（副機能） 平成28年6月3日認定

## Ⅱ 構想区域の現状と課題

岩手県の構想区域は現行の二次保健医療圏と同様に設定



資料：平成 28 年 3 月策定岩手県地域医療構想より

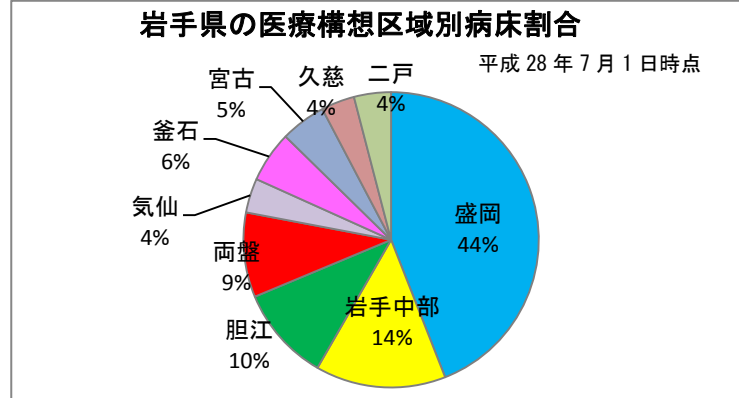
## 1 構想区域の現状（岩手県地域医療構想より）

### ① 岩手県内の公的病院の役割

岩手県は、山間地が多いことや都市部への交通アクセスが十分ではなかったこと、民間の医療機関が不足する地域が多いことから、県立病院や市町村立医療機関等の公的医療機関が整備され、広い県土の中で医療提供体制の確保に大きな役割を果たしている。

### ② 盛岡構想区域の医療提供体制の概況

県全域のセンター機能を担う高度急性期病床を有する岩手医科大学附属病院や県立中央病院が立地するほか、病床機能報告の対象となる病床の約45%が集中する。



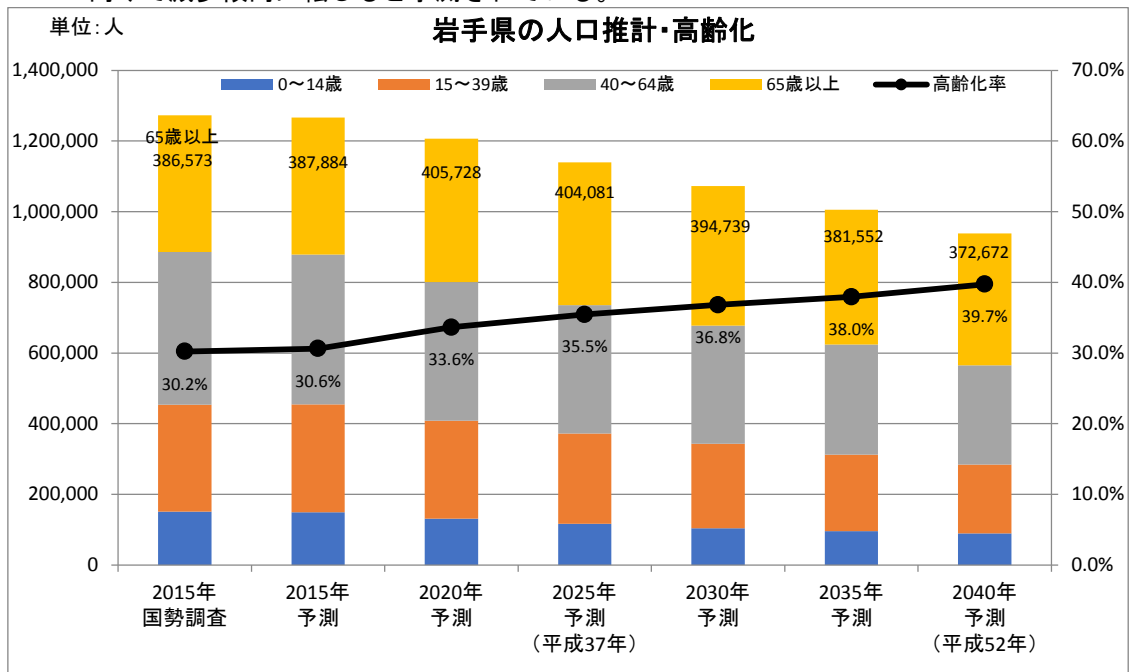
平成 28 年度病床機能報告結果より

### ③ 人口構造の見通し

「日本の地域別将来推計人口」によると、岩手県の全人口は、平成22年（2010年）を100とした場合、2025年に85.7、2040年には70.5に減少すると推計されている。

75歳以上人口は、平成22年を100とした場合、2025年では121.4に増加し、2040年は121.2と横ばい傾向と見込まれている。（国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月推計）

二次保健医療圏別では、75歳以上人口が2040年に向けて増加見込みは盛岡保健医療圏のみで、久慈保健医療圏がほぼ横ばい、その他の二次保健医療圏は2025年以降、2040年に向けて減少傾向に転じると予測されている。

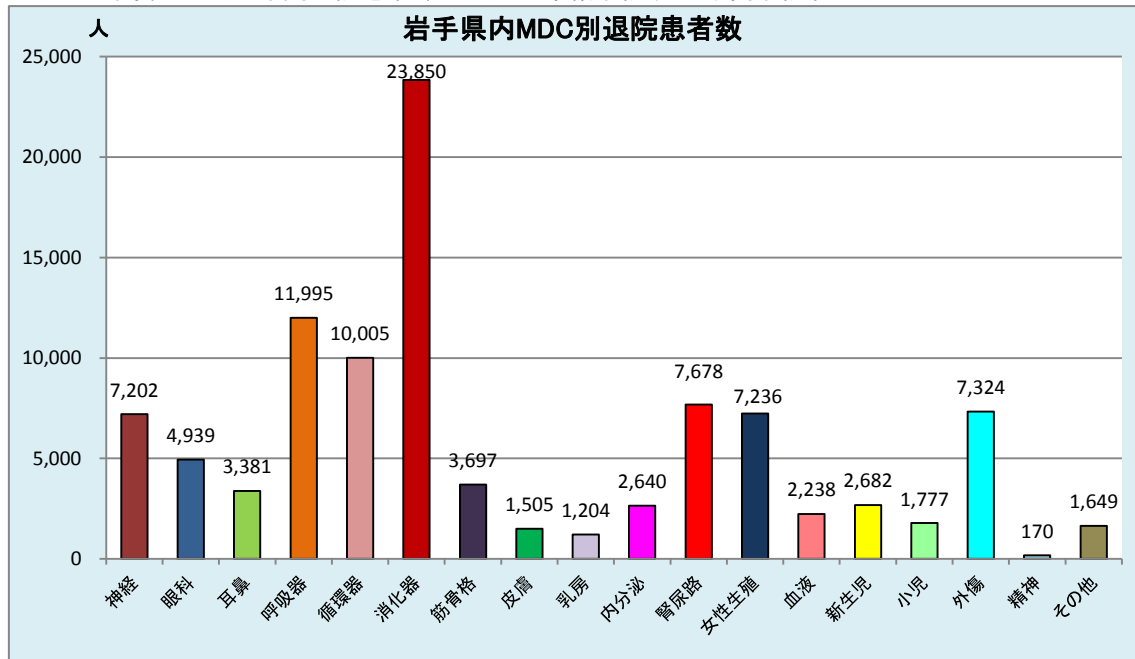


資料：国立社会保障・人口問題研究所（2013 年 3 月推計）より

#### ④ 医療需要に対する提供体制

高齢化に伴い、今後医療需要が増加することが予測されている疾病のうち、脳卒中や急性心筋梗塞は、その発症初期において居住地の近くで速やかに受療できる医療提供体制を目指す必要があり、高齢者の肺炎や大腿骨頸部骨折は、回復期につながっていくことが多いため、可能な限り居住地の近くで対応する必要がある。

平成 27 年度 MDC 別年間退院患者数 (DPC 準備病院、出来高病院含む)



厚生省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会データより

#### ⑤ 入院医療の現状

入院医療の完結率は全体で98.2%であり、病床機能区分ごとに見ても他の構想区域と比較して高い水準にあるほか、隣接する岩手中部構想区域、宮古構想区域、二戸構想区域からの患者の流入が多くみられる。

構想区域における医療需要(病床数換算)と現状の病床数比較

[単位: 床]

		盛岡	岩手 中部	胆江	両巻	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸
高度急性期	A 構想区域内に住所を有する者のH25年度の医療需要(病床数換算)	360	165	86	71	41	31	69	40	28
	B H26年度の病床数の現状(病床機能報告結果)	1,773	270	0	0	20	0	0	20	0
	C H25地域完結率	100.0%	71.5%	82.6%	100.0%	100.0%	100.0%	56.5%	100.0%	100.0%
	D B÷A 病床機能報告結果と医療需要の比較(余力)	492.5%	163.6%	0.0%	0.0%	48.8%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
急性期	A 構想区域内に住所を有する者のH25年度の医療需要(病床数換算)	1,089	482	362	307	171	144	192	127	149
	B H26年度の病床数の現状(病床機能報告結果)	1,821	861	825	927	429	324	368	389	444
	C H25地域完結率	100.0%	78.4%	84.3%	84.4%	87.1%	84.0%	70.3%	100.0%	81.9%
	D B÷A 病床機能報告結果と医療需要の比較(余力)	167.2%	178.6%	227.9%	302.0%	250.9%	225.0%	191.7%	306.3%	298.0%
回復期	A 構想区域内に住所を有する者のH25年度の医療需要(病床数換算)	1,196	600	319	317	104	185	234	136	157
	B H26年度の病床数の現状(病床機能報告結果)	870	188	60	151	0	119	78	62	19
	C H25地域完結率	100.0%	78.2%	83.1%	83.6%	70.2%	76.8%	70.5%	83.1%	51.6%
	D B÷A 病床機能報告結果と医療需要の比較(余力)	72.7%	31.3%	18.8%	47.6%	0.0%	64.3%	33.3%	45.6%	12.1%
慢性期	A 構想区域内に住所を有する者のH25年度の医療需要(病床数換算)	1,104	308	418	247	108	130	142	49	116
	B H26年度の病床数の現状(病床機能報告結果)	1,717	352	606	230	60	282	168	48	92
	C H25地域完結率	93.7%	51.6%	93.3%	64.4%	38.9%	90.0%	53.5%	67.3%	25.9%
	D B÷A 病床機能報告結果と医療需要の比較(余力)	155.5%	114.3%	145.0%	93.1%	55.6%	216.9%	118.3%	98.0%	79.3%

資料：岩手県地域医療構想より：厚生労働省「必要病床数等推計ツール」(平成37年、慢性期パターンB)、平成26年度病床機能報告を元に岩手県医療政策室が作成

1. 構想区域内に住所を有する者の平成25年度における医療需要を病床数に換算したうえで、平成26年度の病床機能報告と比較したもの。
2. Aは、必要病床数等推計ツールにより算出した平成25年度の構想区域内に住所を有する者の医療需要を病床数に換算したもの。
3. Bは平成26年度の病床機能報告の結果
4. C=(Aのうち構想区域内の医療機関での受療実績)÷Aで、平成25年度における構想区域で提供された医療の実績に基づく完結率を示す。
5. D=B÷Aで、平成25年度の構想区域の医療ニーズ(A)と現状の病床数(B)を比較したもの。

## ⑥ 医療従事者の状況

県の人口10万人当たりの医師数は、全国と比較して低い水準（全国で第40位）にあり、特に県北・沿岸地域の医師不足など医師の地域偏在の問題や、産科や小児科などの特定診療科の医師不足が続いている。

## 2 岩手県医療構想区域の課題（岩手県地域医療構想より）

### ① 病床機能について

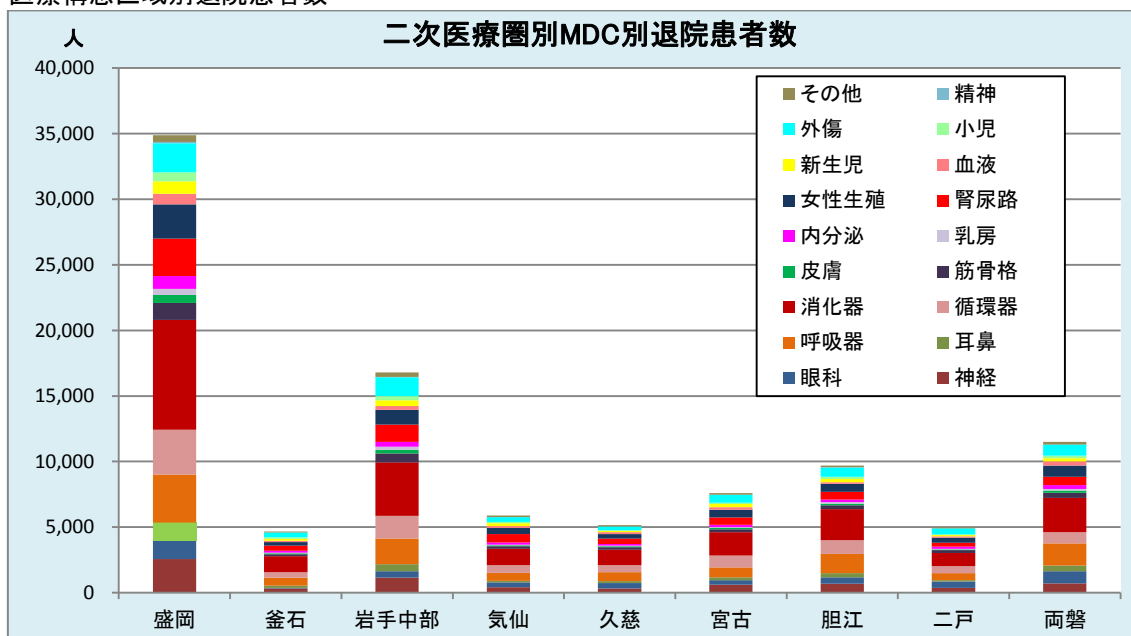
病床機能報告による病床機能ごとの病床数と2025年（H37年）の必要病床数を比較では、高度急性期、急性期及び慢性期が過剰となり、回復期が不足する見込みである。過剰となることが予測される高度急性期、急性期及び慢性期の病床を、不足することが予測される回復期の病床に転換することの有効性や、これらの医療資源を在宅医療等の体制整備に活用していくこと等の検討が課題である。

岩手県のH26年度病床機能報告とH37年度必要病床数の比較 [単位:床]

構想区域	機能区分	H26 病床機能報告 「許可病床」		H37 必要病床数 C	差引 B - C
		H26時点 A	H32時点 B		
岩手県 (県内計)	高度急性期	2,083	2,083	1,030	1,053
	急性期	6,388	5,913	3,333	2,580
	回復期	1,547	※1,908	3,696	▲1,788
	慢性期	3,555	3,678	2,617	1,061
	無回答	286	258	—	258
	合計	13,859	※13,840	10,676	3,164

資料:厚生労働省「必要病床数等推計ツール」、平成26年度病床機能報告(許可病床に係る報告値)・岩手県地域医療構想より  
注) ※は、再建予定の県立病院について再建計画の内容を反映させており、病床機能報告による集計結果と一致しない。

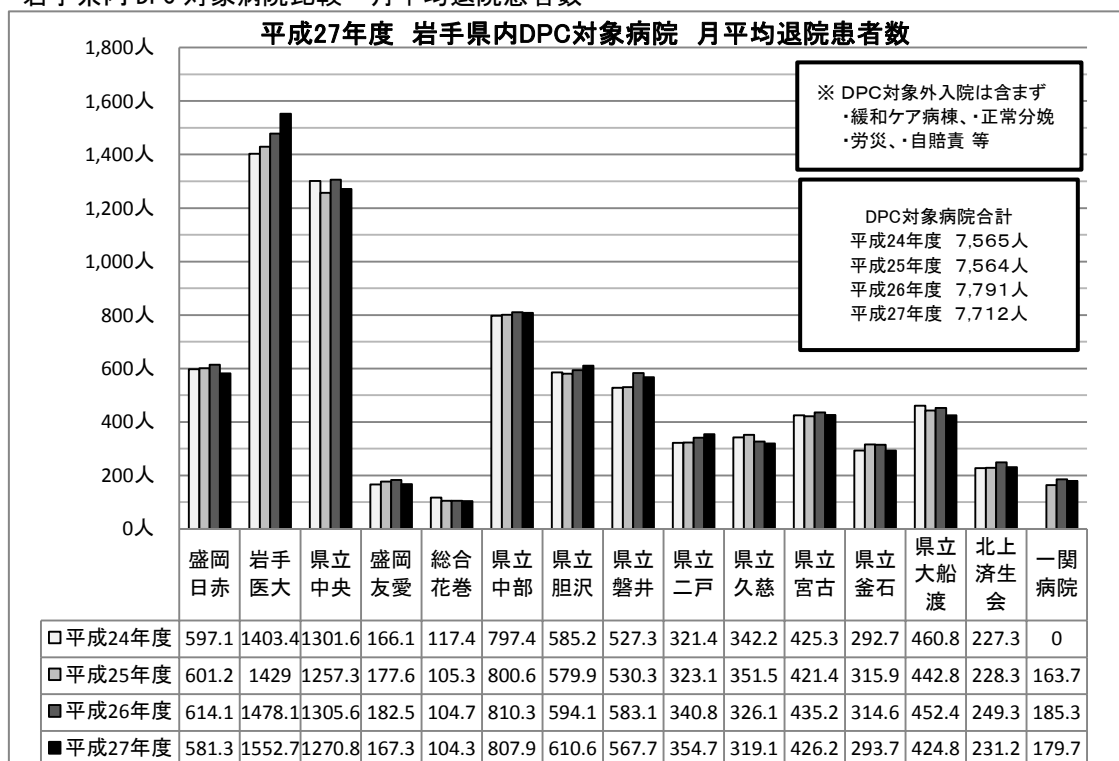
## 医療構想区域別退院患者数



データ: 厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会より



# 岩手県内 DPC 対象病院比較 月平均退院患者数



データ：厚労省・中央社会保険医療協議会 平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会より

## 平成27年度MDC別 月平均退院 患者数

施設名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	神経	眼科	耳鼻	呼吸器	循環器	消化器	筋骨格	皮膚	乳房	内分泌	腎尿路	女性生殖	血液	新生児	小児	外傷	精神	その他
岩手医科大学附属病院	101.4	214.9	90.4	99.6	168.1	261.8	81.3	40.8	19.1	44.2	122.8	104.5	26.9	61.9	8.7	73.3	0.0	23.7
岩手県立中央病院	93.3	26.7	47.5	161.1	149.6	279.7	34.2	14.8	21.2	40.8	134.2	90.0	29.1	4.5	23.6	58.3	1.2	18.4
盛岡友愛病院	4.8	5.7	3.0	19.3	26.0	32.5	17.9	4.4	14.9	3.2	18.7	0.0	1.3	0.0	0.9	7.8	2.3	3.3
盛岡赤十字病院	31.5	15.3	38.6	38.3	36.9	118.2	11.3	8.9	3.8	6.7	45.4	101.3	37.0	17.9	13.3	40.2	0.0	7.4
岩手県立宮古病院	38.7	0.0	4.7	50.0	51.6	111.0	5.8	2.7	2.3	7.1	23.2	29.5	2.8	1.3	8.7	41.5	0.0	5.8
岩手県立大船渡病院	30.3	19.4	4.9	40.0	39.8	92.8	6.4	2.9	3.0	11.3	42.5	37.0	16.3	2.2	7.6	24.8	0.0	7.8
北上済生会病院	10.1	2.5	8.7	59.9	9.9	12.8	15.4	2.9	1.7	3.7	13.8	15.5	1.6	23.3	16.3	18.3	0.0	1.1
岩手県立中部病院	59.3	26.8	11.4	82.7	90.3	241.4	12.9	10.8	10.4	15.3	49.7	41.0	16.4	4.7	13.1	57.8	0.0	19.8
岩手県立久慈病院	22.8	28.2	4.7	42.8	41.0	85.6	5.8	4.0	3.3	7.9	24.8	6.3	5.3	1.4	4.6	20.4	0.0	5.8
岩手県立磐井病院	44.5	4.6	16.1	86.3	34.9	145.6	8.4	7.7	2.4	12.3	27.3	16.3	8.8	3.7	9.7	47.3	0.0	7.4
岩手県立釜石病院	23.1	0.0	8.0	38.1	22.9	89.0	8.1	4.8	3.3	9.3	24.8	3.9	2.3	0.0	10.8	27.4	0.0	6.2
岩手県立二戸病院	27.1	32.3	3.8	29.7	35.5	79.2	9.6	1.1	0.0	9.8	15.0	31.8	4.8	9.0	2.7	36.3	0.0	2.1
岩手県立胆沢病院	42.8	10.3	16.3	108.0	76.6	175.8	16.7	7.8	3.7	12.5	57.3	1.0	8.4	1.0	7.4	50.3	1.4	9.8
総合花巻病院	19.9	0.0	2.8	10.8	2.8	11.9	7.5	1.0	0.0	4.8	2.8	0.0	1.4	0.0	2.6	32.3	0.0	0.0
一関病院	6.0	33.7	5.8	20.1	3.1	37.3	9.5	1.3	4.0	4.3	1.9	11.2	2.5	2.3	2.1	10.0	0.0	0.8
患者数計	555.5	420.3	266.4	886.7	788.9	1,774.3	250.7	115.8	93.0	193.2	604.3	489.3	164.9	133.2	131.9	545.8	4.9	119.3

参考(DPC病院以外)

盛岡繁温泉病院	6.8	0.0	1.5	12.2	3.9	4.3	1.5	0.8	0.0	1.6	2.7	0.0	1.5	0.0	1.4	2.0	1.3	0.0
奥州病院	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南昌病院	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
川久保病院	2.8	7.2	1.8	14.7	2.8	12.5	0.0	0.0	0.0	2.7	2.5	0.0	0.0	0.0	4.5	4.2	0.0	1.9
盛岡市立病院	9.1	11.3	0.0	7.6	1.4	103.1	3.7	0.0	0.0	3.3	2.3	0.0	1.2	0.0	4.4	13.8	0.9	1.3
国立盛岡病院	0.0	0.0	1.6	6.8	0.0	1.7	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	7.3	0.0	0.0
内丸病院	1.1	0.0	0.8	6.1	3.0	25.9	0.9	0.0	2.3	7.8	1.9	0.0	1.5	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
八角病院	4.4	0.0	1.5	13.7	3.9	26.7	3.6	1.4	0.0	2.4	3.3	0.0	1.3	0.0	1.2	3.9	0.0	0.0
藤沢病院	5.0	0.0	3.6	15.3	8.1	12.3	1.3	2.3	0.0	2.9	3.3	0.0	1.0	0.0	1.7	6.8	0.0	0.8
中津川病院	1.1	0.0	0.0	3.7	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩手県立東和病院	2.3	0.0	0.9	2.8	1.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

データ：厚労省・中央社会保険医療協議会 平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会より

岩手県内施設別MDC別比率

施設名	比率																	
	神経	眼科	耳鼻	呼吸器	循環器	消化器	筋骨格	皮膚	乳房	内分泌	腎尿路	女性生殖	血液	新生児	小児	外傷	精神	その他
	MDC01	MDC02	MDC03	MDC04	MDC05	MDC06	MDC07	MDC08	MDC09	MDC10	MDC11	MDC12	MDC13	MDC14	MDC15	MDC16	MDC17	MDC18
																		全体
岩手医科大学附属病院	6.5%	13.8%	5.8%	6.4%	10.9%	16.9%	5.2%	2.6%	1.2%	2.9%	7.9%	7.1%	1.7%	4.0%	0.6%	4.8%	0.0%	1.5%
岩手県立中央病院	7.4%	2.1%	3.8%	12.8%	11.8%	22.3%	2.7%	1.2%	1.7%	3.2%	10.6%	7.3%	2.3%	2.8%	1.9%	4.7%	0.1%	1.5%
盛岡友愛病院	3.1%	3.4%	1.8%	11.6%	15.5%	19.4%	10.7%	2.6%	8.9%	1.9%	11.2%	0.1%	0.9%	0.1%	0.5%	4.6%	1.4%	1.9%
盛岡赤十字病院	5.4%	2.6%	6.7%	6.6%	6.4%	20.3%	1.9%	1.5%	0.7%	1.3%	7.8%	18.7%	6.4%	3.1%	2.3%	6.9%	0.1%	1.3%
岩手県立宮古病院	9.2%	0.0%	1.2%	12.0%	12.3%	26.7%	1.3%	0.8%	0.6%	1.8%	5.6%	9.9%	0.8%	4.5%	2.1%	9.8%	0.1%	1.4%
岩手県立大船渡病院	7.3%	4.6%	1.2%	9.5%	9.4%	22.1%	1.5%	0.7%	0.7%	2.8%	10.1%	10.6%	3.9%	5.9%	1.8%	5.9%	0.1%	1.9%
済生会北上済生会病院	4.6%	1.1%	3.8%	26.0%	4.3%	5.6%	6.7%	1.5%	0.8%	1.7%	6.0%	10.6%	0.7%	10.1%	7.1%	8.3%	0.3%	0.8%
岩手県立中部病院	7.5%	3.4%	1.5%	10.4%	11.3%	30.2%	1.6%	1.4%	1.3%	1.9%	6.2%	8.2%	2.1%	1.6%	1.7%	7.2%	0.1%	2.5%
岩手県立久慈病院	7.1%	8.8%	1.6%	13.6%	12.9%	26.8%	1.8%	1.3%	1.0%	2.6%	7.8%	2.9%	1.7%	0.5%	1.5%	6.4%	0.0%	1.8%
岩手県立磐井病院	8.1%	0.9%	3.0%	15.8%	6.4%	26.7%	1.6%	1.4%	0.6%	2.3%	5.1%	9.6%	1.8%	4.3%	2.4%	8.5%	0.1%	1.4%
岩手県立釜石病院	7.9%	0.1%	2.9%	13.2%	7.9%	30.5%	2.8%	1.6%	1.2%	3.2%	8.5%	2.4%	0.8%	1.6%	3.7%	9.3%	0.2%	2.1%
岩手県立二戸病院	8.1%	9.1%	1.1%	8.6%	10.2%	22.5%	2.7%	0.4%	0.2%	2.9%	4.3%	12.5%	1.4%	4.3%	0.8%	10.4%	0.0%	0.6%
岩手県立胆沢病院	7.1%	1.8%	2.7%	17.8%	12.6%	28.8%	2.7%	1.3%	0.6%	2.0%	9.4%	0.3%	1.4%	0.2%	1.3%	8.2%	0.2%	1.6%
総合花巻病院	19.5%	0.0%	2.6%	10.7%	3.0%	11.4%	7.2%	1.4%	0.2%	4.6%	2.7%	0.0%	1.4%	0.2%	2.5%	31.8%	0.2%	0.6%
博愛会一関病院	3.9%	18.8%	3.3%	12.2%	1.9%	21.1%	5.3%	1.0%	2.2%	2.5%	1.2%	15.7%	1.5%	1.4%	1.3%	5.8%	0.5%	0.5%
盛岡整温泉病院	16.6%	0.0%	3.5%	29.2%	9.1%	9.9%	3.5%	2.3%	0.0%	3.7%	6.2%	0.0%	3.5%	0.0%	3.3%	5.2%	2.9%	1.2%
綿厚堂南島病院	19.3%	0.0%	0.0%	28.1%	3.5%	5.3%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	0.0%	0.0%
内丸病院	2.0%	0.0%	1.6%	11.4%	5.6%	48.5%	1.7%	0.0%	4.2%	14.7%	3.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%
川久保病院	5.7%	11.6%	3.0%	23.9%	5.3%	20.2%	1.1%	0.9%	0.0%	4.5%	4.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	7.4%	7.0%	3.1%
盛岡市立病院	5.4%	6.9%	0.3%	4.9%	0.8%	61.5%	2.2%	0.2%	0.3%	2.1%	1.7%	0.1%	0.8%	0.2%	2.6%	8.2%	0.6%	1.0%
国立盛岡病院	1.1%	0.0%	4.3%	18.5%	0.9%	4.5%	41.5%	1.8%	0.0%	1.6%	2.3%	0.0%	0.9%	0.0%	2.3%	19.6%	0.5%	0.2%
日新堂八角病院	6.6%	0.0%	2.2%	20.1%	5.6%	38.2%	5.1%	2.3%	0.1%	3.6%	4.7%	0.5%	1.8%	0.1%	1.7%	5.9%	0.6%	1.1%
一関市国保藤沢病院	8.0%	0.0%	5.4%	23.5%	12.4%	18.6%	2.9%	3.6%	0.0%	4.6%	5.3%	0.1%	1.5%	0.0%	2.5%	10.2%	0.0%	1.4%
岩手済生会中津川病院	11.3%	0.0%	0.9%	38.3%	11.3%	9.6%	2.6%	2.6%	0.0%	8.7%	7.0%	0.0%	0.9%	0.0%	2.6%	2.6%	0.9%	0.9%
岩手県立東和病院	17.4%	0.0%	6.6%	21.0%	9.6%	14.4%	1.8%	0.6%	0.6%	4.8%	10.2%	0.6%	1.8%	0.0%	2.4%	6.0%	1.8%	0.6%
DPC対象病院Ⅰ群平均	6.2%	9.4%	5.1%	8.3%	9.7%	19.1%	6.5%	2.3%	1.7%	3.8%	7.4%	8.2%	2.7%	3.5%	0.6%	3.4%	0.1%	1.9%
DPC対象病院Ⅱ群平均	6.7%	4.3%	4.0%	11.5%	13.0%	21.3%	4.3%	1.5%	1.7%	2.6%	7.6%	7.5%	2.8%	2.3%	1.3%	5.7%	0.1%	1.8%
DPC対象病院Ⅲ群平均	6.0%	4.8%	4.1%	12.3%	10.8%	23.1%	4.7%	1.5%	1.2%	2.9%	7.8%	5.6%	2.1%	1.9%	1.8%	7.4%	0.2%	1.8%
DPC準備病院平均	7.2%	3.8%	3.5%	12.2%	9.6%	25.2%	6.3%	1.4%	1.0%	3.3%	7.2%	3.9%	1.5%	1.4%	2.1%	8.8%	0.3%	1.4%
出来高算定病院平均	6.5%	3.3%	3.3%	13.9%	9.8%	24.6%	6.2%	1.6%	0.8%	4.2%	6.4%	2.6%	1.5%	1.0%	2.4%	10.2%	0.5%	1.4%

データ：厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会より

② 盛岡構想区域の課題：（岩手県地域医療構想より）

盛岡構想区域における地域完結率は慢性期を除き100%である。慢性期については、主に岩手中部構想区域、二戸構想区域、宮古構想区域等からの患者の流入があることを踏まえ、他の構想区域との適切な連携体制を引き続き確保する必要がある。

盛岡構想区域は、三次保健医療圏（全県）で対応する高度急性期をはじめ全県の医療機能を支える中核的な役割が求められる。また、隣接する3県からの受入実績も勘案する必要がある。

盛岡構想区域の人口の将来動向として2025年（H37年）にかけて75 歳以上人口が大きく増加し、更に2040年（H52年）にかけても増加が続くと予測されるため、住民の高齢化に伴って増加する疾病への対応が必要と考えられる。

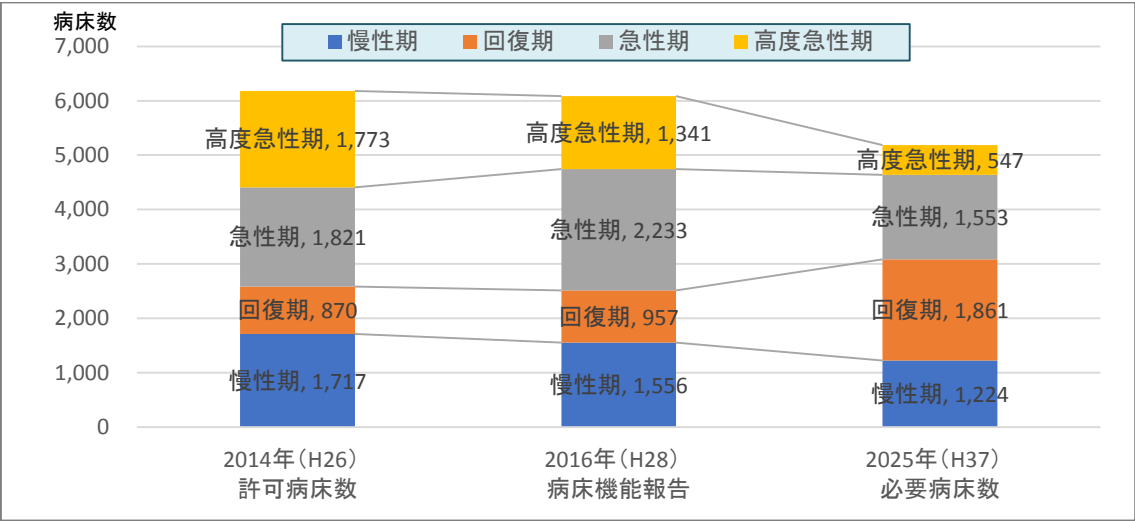
盛岡構想区域・許可病床ベース

盛岡構想区域の病床機能報告とH37年度必要病床数の比較 [単位:床]

構想区域	機能区分	H26 病床機能報告 「許可病床」		H28 病床機能報告 D	H37 必要病床数 C	差引 D - C
		H26時点	A			
		H32時点	B			
盛岡	高度急性期	1,773	1,773	1,341	547	794
	急性期	1,821	1,683	2,233	1,553	680
	回復期	870	900	957	1,861	▲ 904
	慢性期	1,717	1,780	1,556	1,224	332
	無回答	39	84	—	—	—
	合計	6,220	6,220	6,231	5,185	1,046

資料：厚生労働省「必要病床数等推計ツール」、H26 年度病床機能報告（許可病床に係る報告値）・岩手県地域医療構想・H28年度病床機能報告の結果  
注1）この他、1病院及び10 有床診療所について集計不能等となっている。

盛岡構想区域の平成 28 年病床機能報告と 2025 年必要病床数



病床数値は岩手県地域医療構想・H28年度病床機能報告より

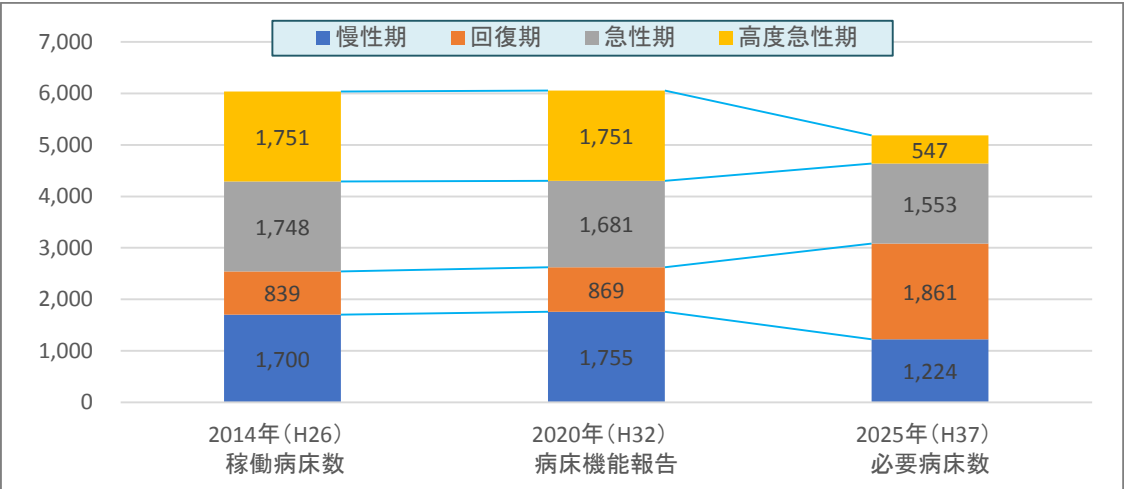
盛岡構想区域・稼働病床ベース

盛岡構想区域のH26年度病床機能報告（稼働病床に基づく報告値）とH37年度必要病床数の比較

構想区域	機能区分	H26 病床機能報告 「稼働病床」				H37 必要病床数	差引
		H26時点	ア	H32時点	イ	ウ	イー ウ
盛岡	高度急性期	1,751		1,751		547	1,204
	急性期	1,748		1,618		1,553	65
	回復期	839		869		1,861	▲992
	慢性期	1,700		1,755		1,224	531
	無回答	0		45		—	45
	合計	6,038		6,038		5,185	853

資料：厚生労働省「必要病床数等推計ツール」、平成26 年度病床機能報告（許可病床に係る報告値）・岩手県地域医療構想より

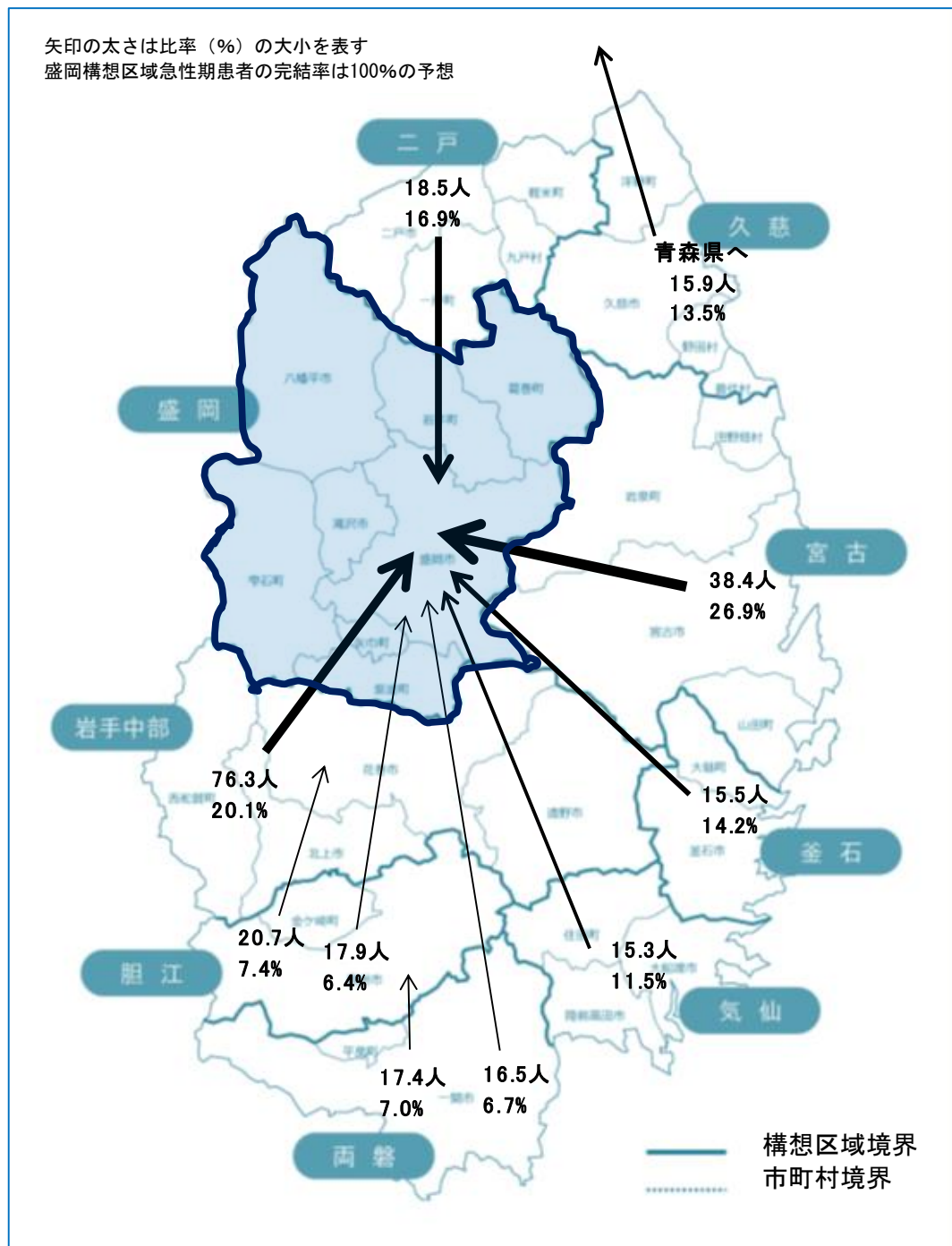
盛岡構想区域の H26 年度病床機能報告（稼働病床に基づく報告値）と 2025 年必要病床数



無回答は含めない 病床数値は岩手県地域医療構想より

厚生労働省「必要病床数等推計ツール」平成25 年の医療需要に基づく2025年（H37 年）における推計

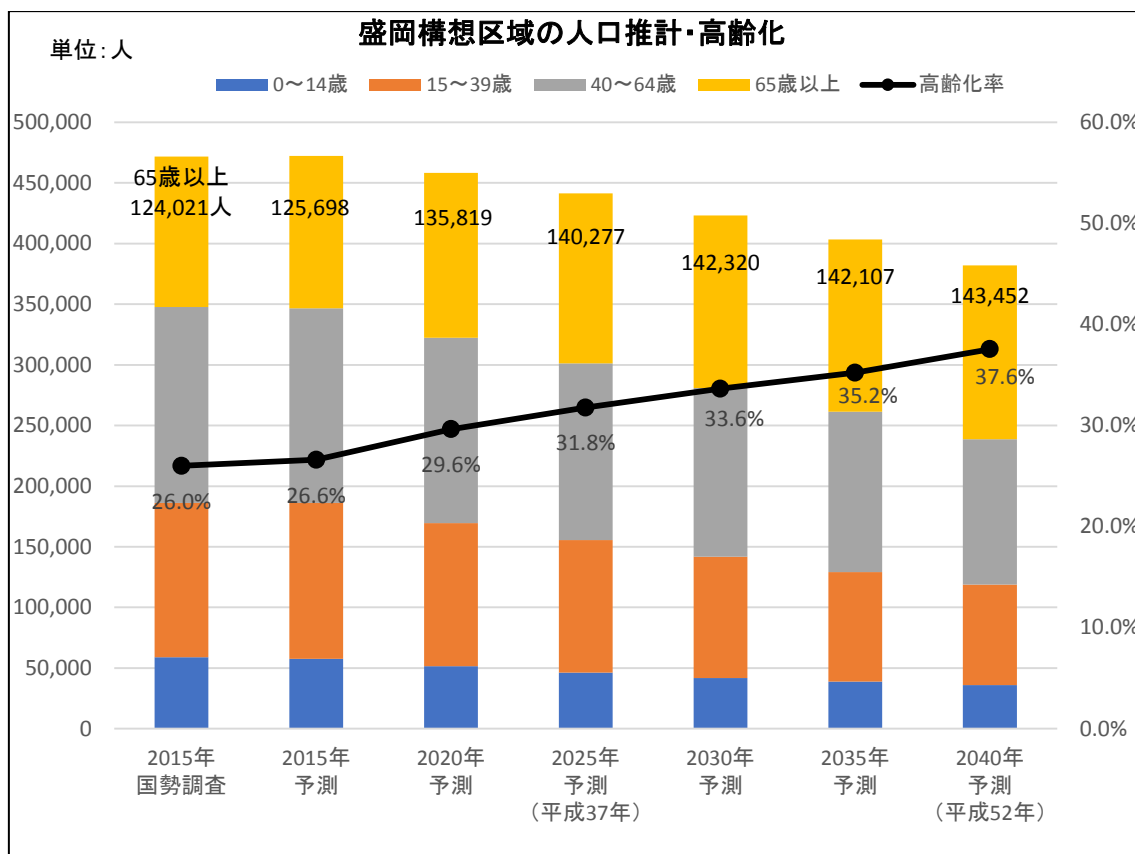
各構想区域内別に住所を有する急性期患者の受療動向の推計(2025年) (上段 人/日) (下段 %)



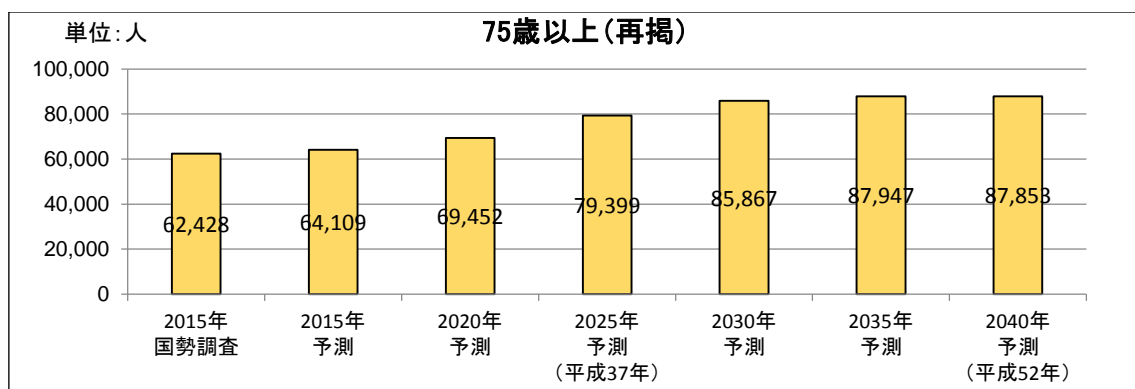
厚生労働省「必要病床数等推計ツール」平成25年の医療需要に基づく2025年(H37年)における推計より作成。  
患者数、比率(%)は岩手県地域医療構想各構想区域別受療動向の推計(機能区分ごと)より他の構想区域への移動: 0.1以上10未満(非公表)は考慮していない。

### ③ 盛岡構想区域の人口推計について

盛岡構想区域の総人口は、平成22年の481,699人が2025年には441,523人に減少し（平成22年比－8.3%）、2040年には382,024人に減少すると予測されている。（平成22年比－20.7%）  
盛岡構想区域の65歳以上人口は、平成22年の109,149人が2025年には140,277人に増加（平成22年比＋28.5%）、2040年には143,452人に増加すると予測されている。（平成22年比＋31.4%）。盛岡構想区域の75歳以上人口は、平成22年の55,464人が2025年には79,399人に増加し（平成22年比＋43.2%）、2040年には87,853人に増加すると予測されている。（平成22年比＋58.4%）



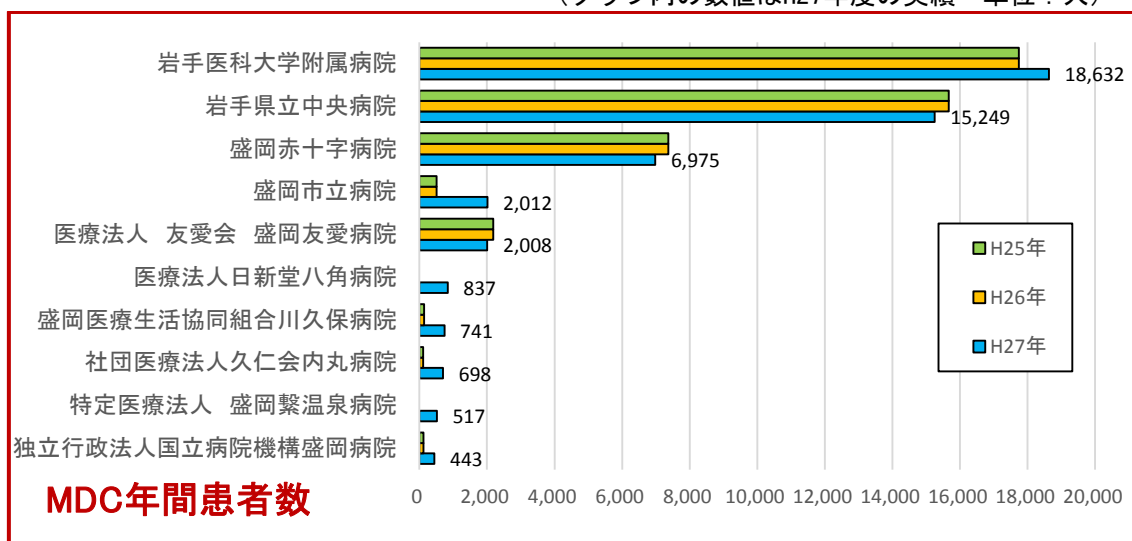
資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2013年3月推計)より



資料: 国立社会保障・人口問題研究所(2013年3月推計)より

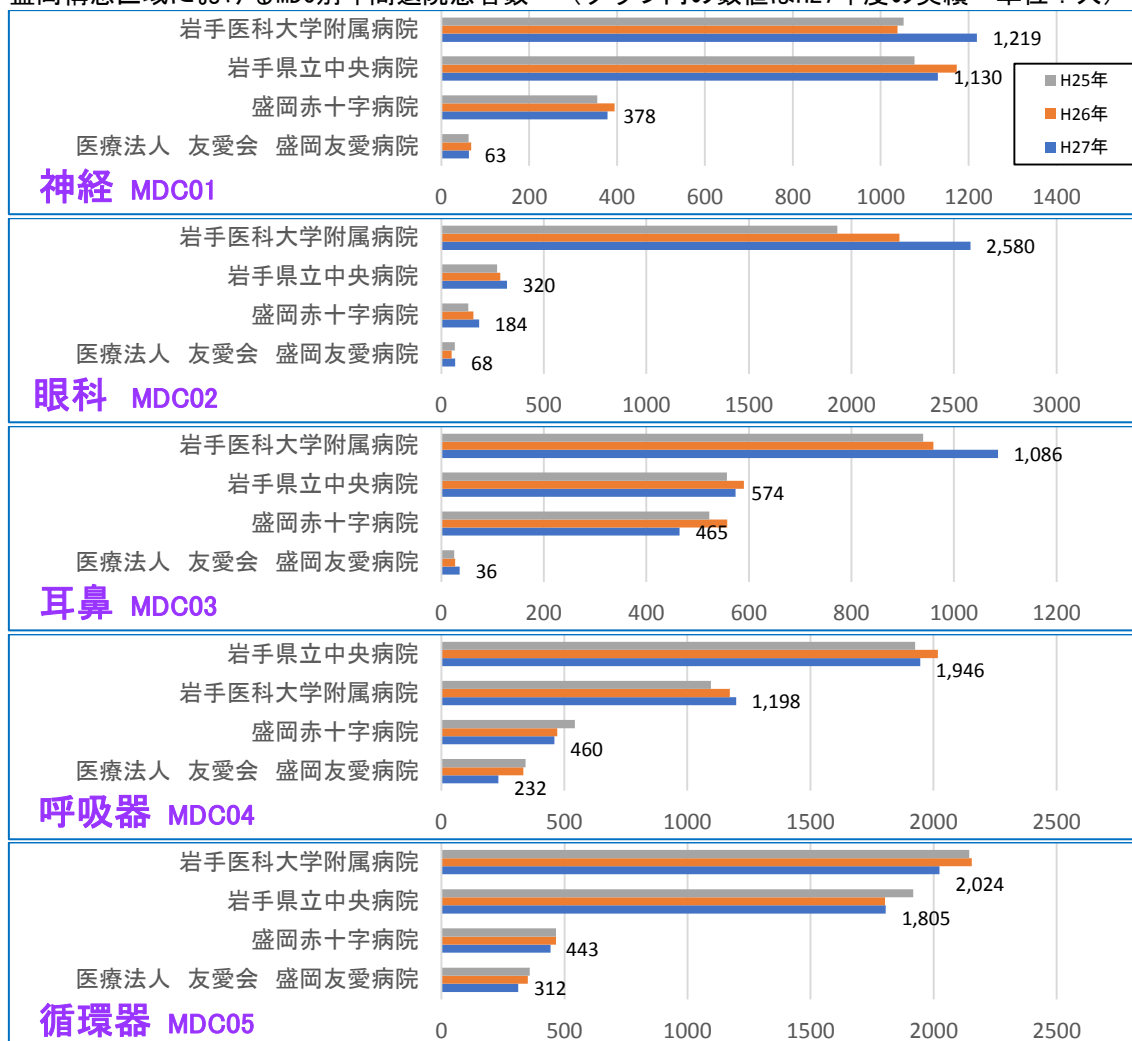
④ 盛岡構想区域における医療施設別の患者数は次のとおりである。

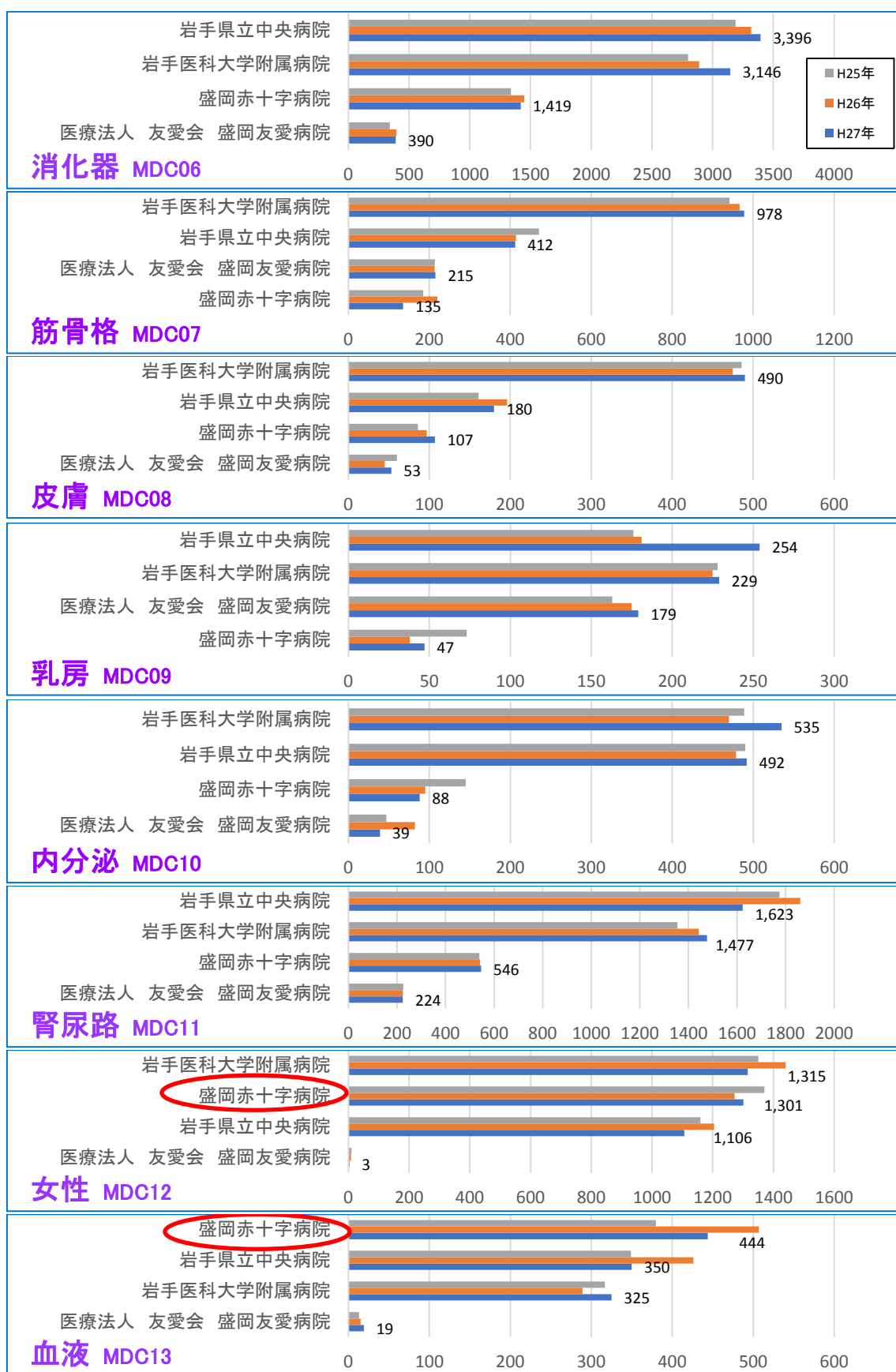
(グラフ内の数値はH27年度の実績・単位：人)

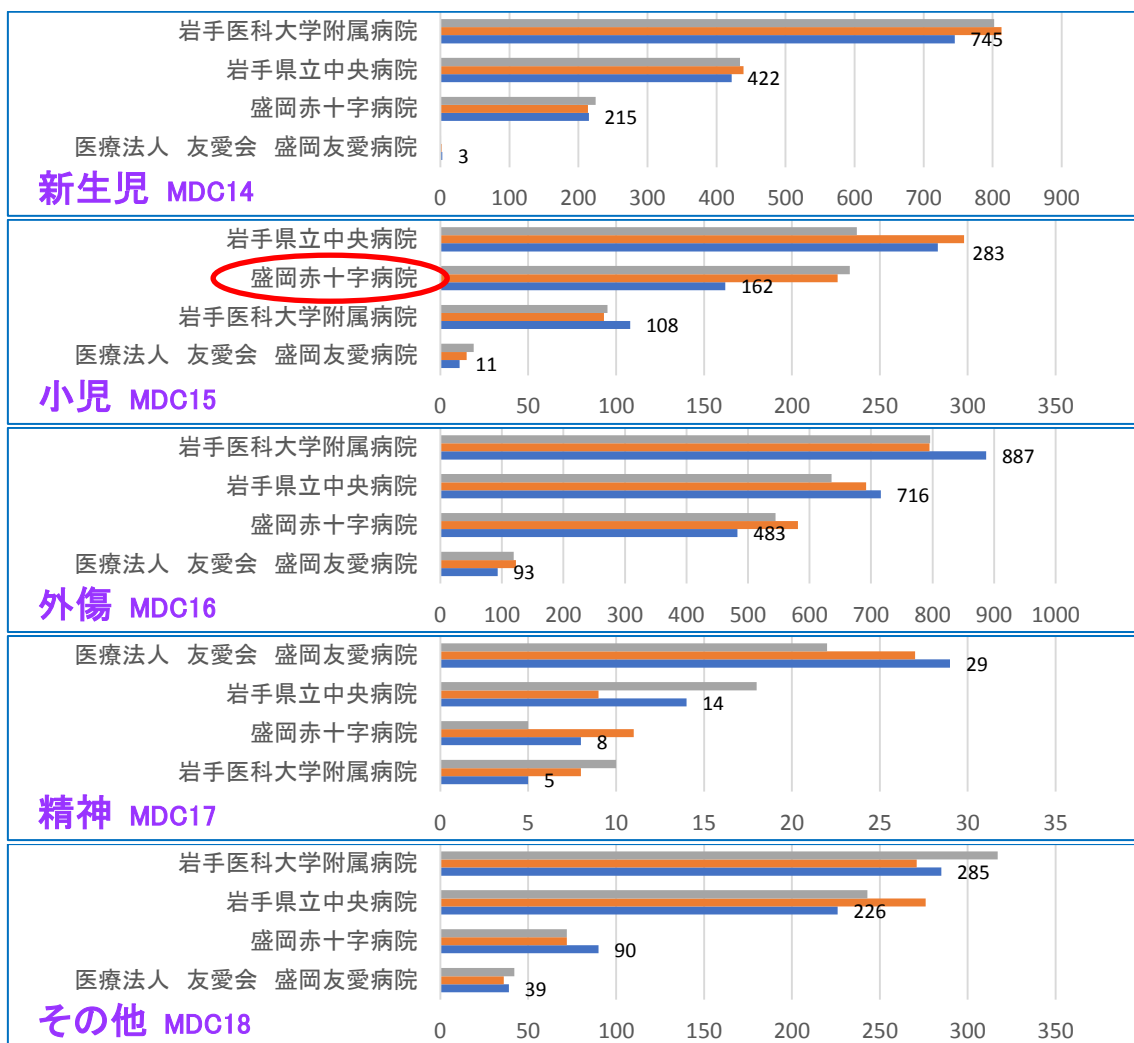


※資料：厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

盛岡構想区域におけるMDC別年間退院患者数 (グラフ内の数値はH27年度の実績・単位：人)

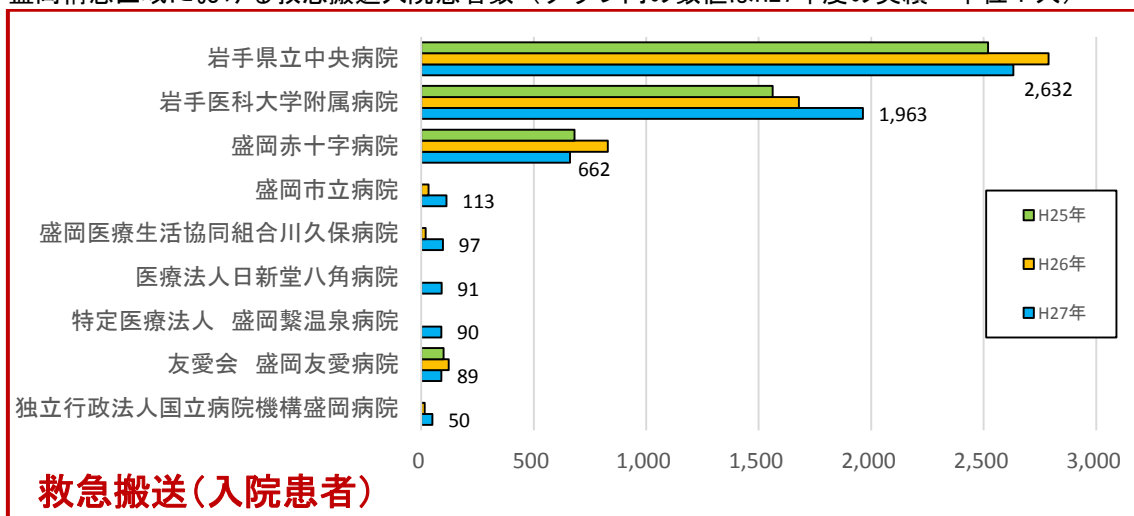






※資料：厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

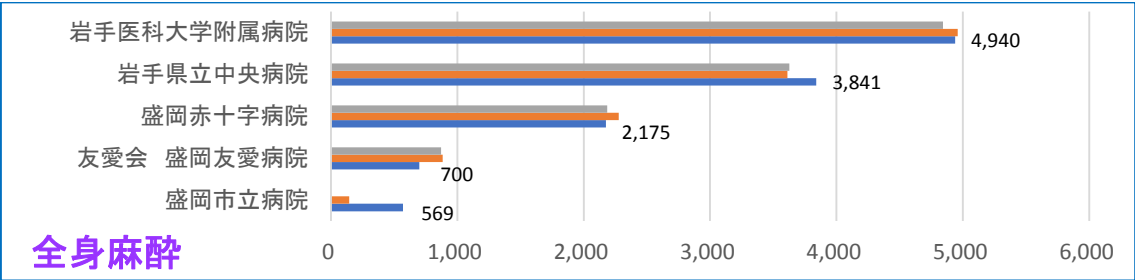
盛岡構想区域における救急搬送入院患者数（グラフ内の数値はH27年度の実績・単位：人）



※資料：厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

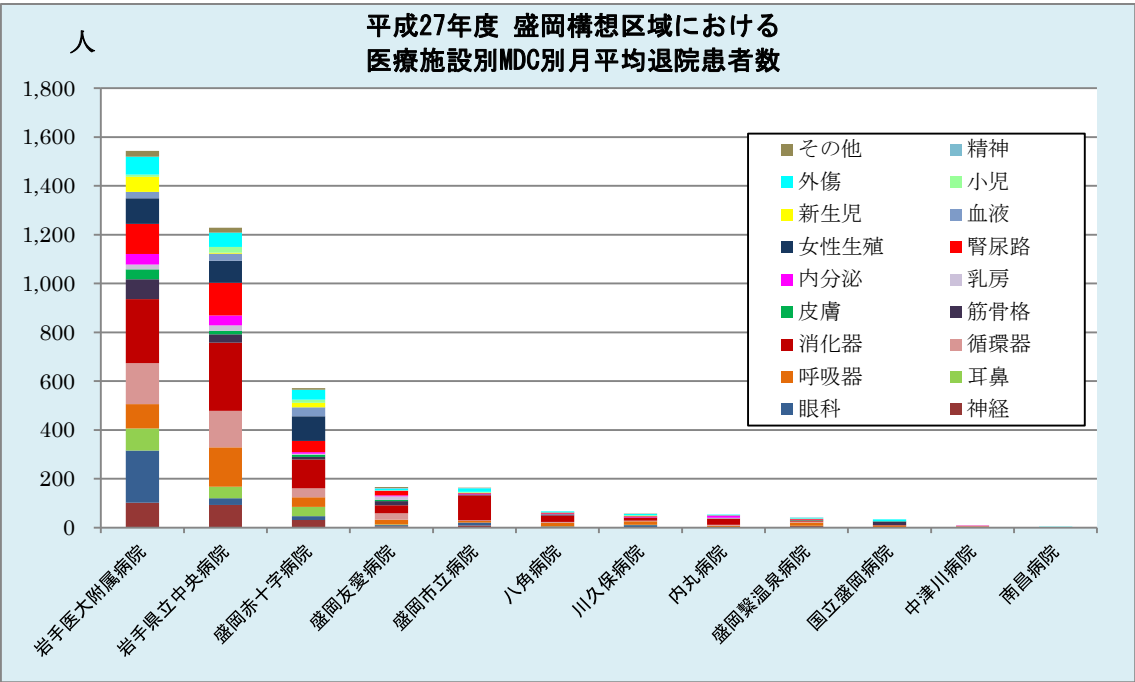


盛岡構想区域における年間患者数（グラフ内の数値はH27年度の実績）



盛岡構想区域における 平成27年度MDC別 月平均退院患者数

施設名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
施設名	神経	眼科	耳鼻	呼吸器	循環器	消化器	筋骨格	皮膚	乳房	内分泌	腎尿路	女性生殖	血液	新生児	小児	外傷	精神	その他
岩手医大附属病院	101.4	214.9	90.4	99.6	168.1	261.8	81.3	40.8	19.1	44.2	122.6	104.5	26.9	61.9	8.7	73.3	0.0	23.7
岩手県立中央病院	93.3	26.7	47.5	161.1	149.6	279.7	34.2	14.8	21.2	40.8	134.2	90.0	29.1	4.5	23.6	58.3	1.2	18.4
盛岡赤十字病院	31.5	15.3	38.6	38.3	36.9	118.2	11.3	8.9	3.8	6.7	45.4	101.3	37.0	17.9	13.3	40.2	0.0	7.4
盛岡友愛病院	4.8	5.7	3.0	19.3	26.0	32.5	17.9	4.4	14.9	3.2	18.7	0.0	1.3	0.0	0.9	7.8	2.3	3.3
盛岡市立病院	9.1	11.3	0.0	7.6	1.4	103.1	3.7	0.0	0.0	3.3	2.3	0.0	1.2	0.0	4.4	13.8	0.9	1.3
八角病院	4.4	0.0	1.5	13.7	3.9	26.7	3.6	1.4	0.0	2.4	3.3	0.0	1.3	0.0	1.2	3.9	0.0	0.0
川久保病院	2.8	7.2	1.8	14.7	2.8	12.5	0.0	0.0	0.0	2.7	2.5	0.0	0.0	0.0	4.5	4.2	0.0	1.9
内丸病院	1.1	0.0	0.8	6.1	3.0	25.9	0.9	0.0	2.3	7.8	1.9	0.0	1.5	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
盛岡紫温泉病院	6.8	0.0	1.5	12.2	3.9	4.3	1.5	0.8	0.0	1.6	2.7	0.0	1.5	0.0	1.4	2.0	1.3	0.0
国立盛岡病院	0.0	0.0	1.6	6.8	0.0	1.7	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	7.3	0.0	0.0
中津川病院	1.1	0.0	0.0	3.7	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南昌病院	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0

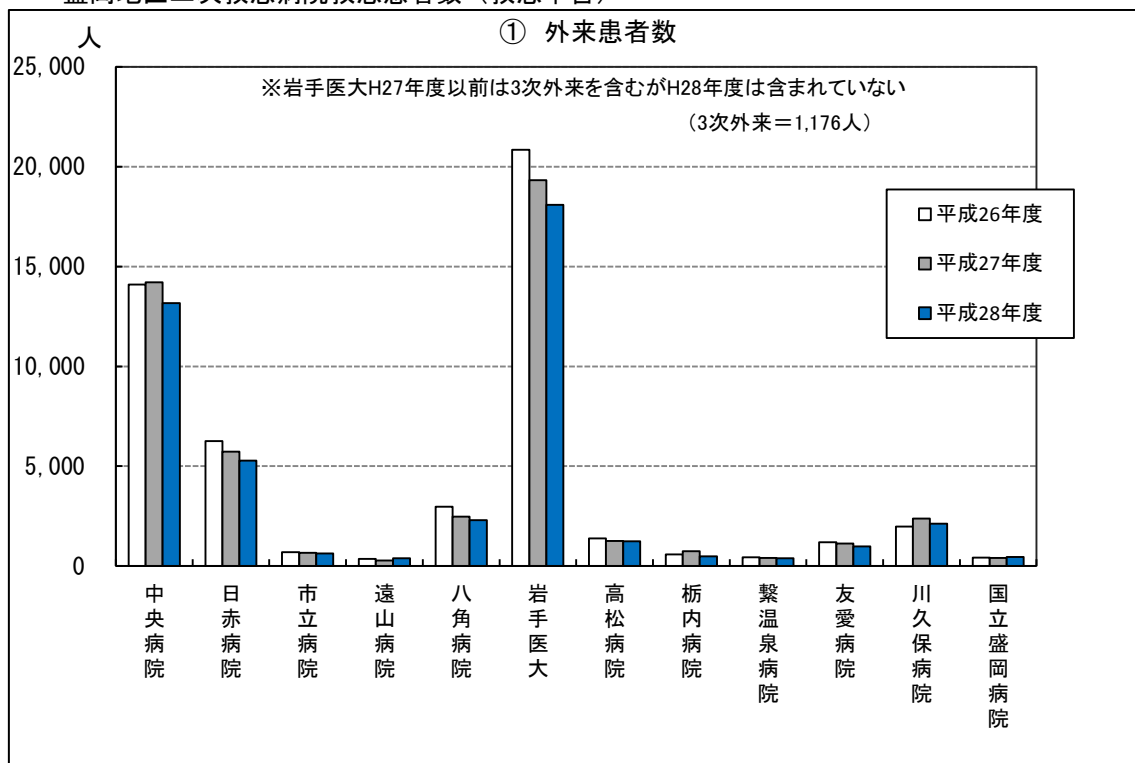


※資料：厚労省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

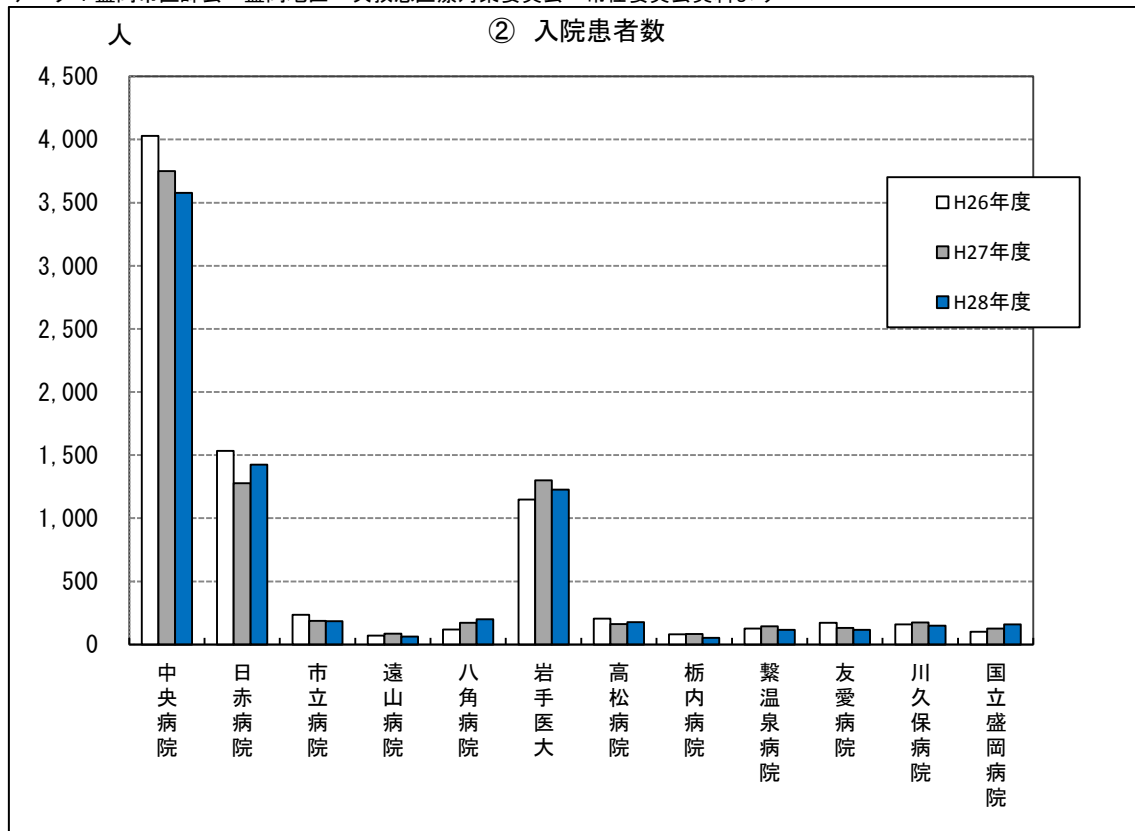
2016 年度（H28 年度）病床機能報告制度の結果

	岩手医科大学附属病院	岩手県立中央病院	盛岡赤十字病院		届出許可病床数(2016年)	必要病床数(2025年)
高度急性期		996	327	高度急性期	1,341	547
急性期		92	358	急性期	2,233	1,553
回復期				回復期	957	1,861
慢性期				慢性期	1,556	1,224
未報告・休棟				未報告・休棟	144	
合計		1,088	685	合計	6,231	5,185

⑤ 盛岡構想区域(盛岡地区二次救急病院)の救急患者数について(平日時間外・休日・深夜)  
盛岡地区二次救急病院救急患者数(救急車含)

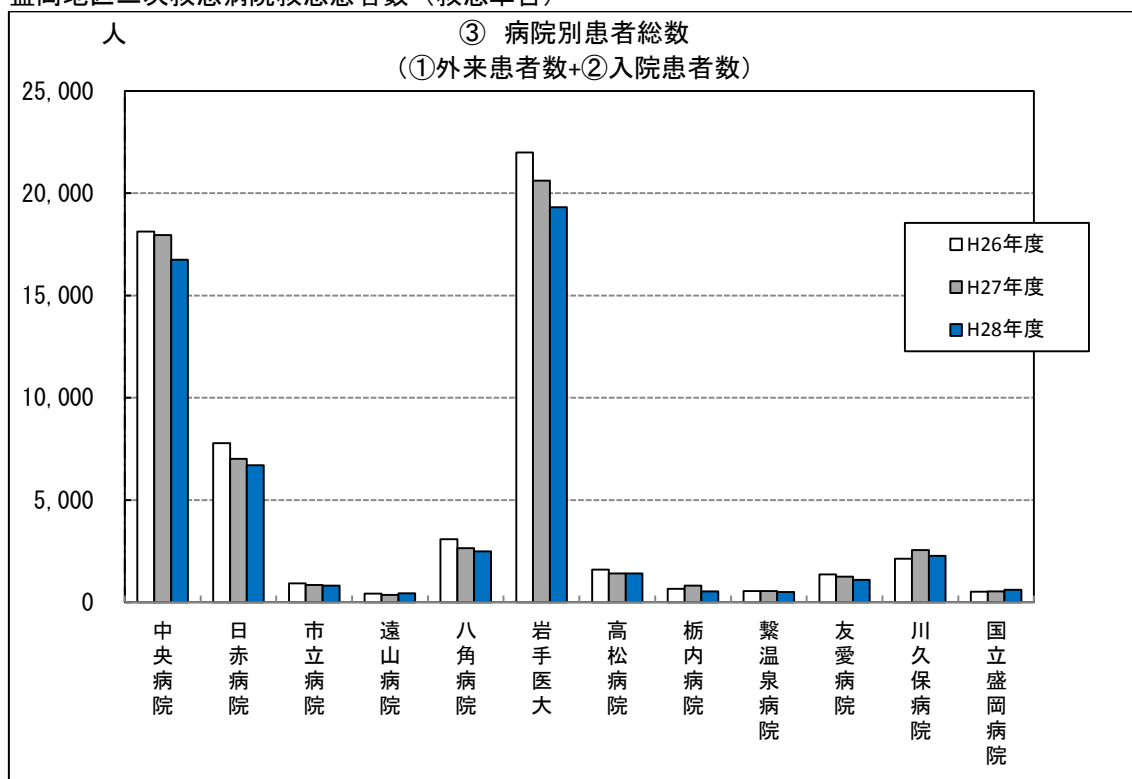


データ：盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より

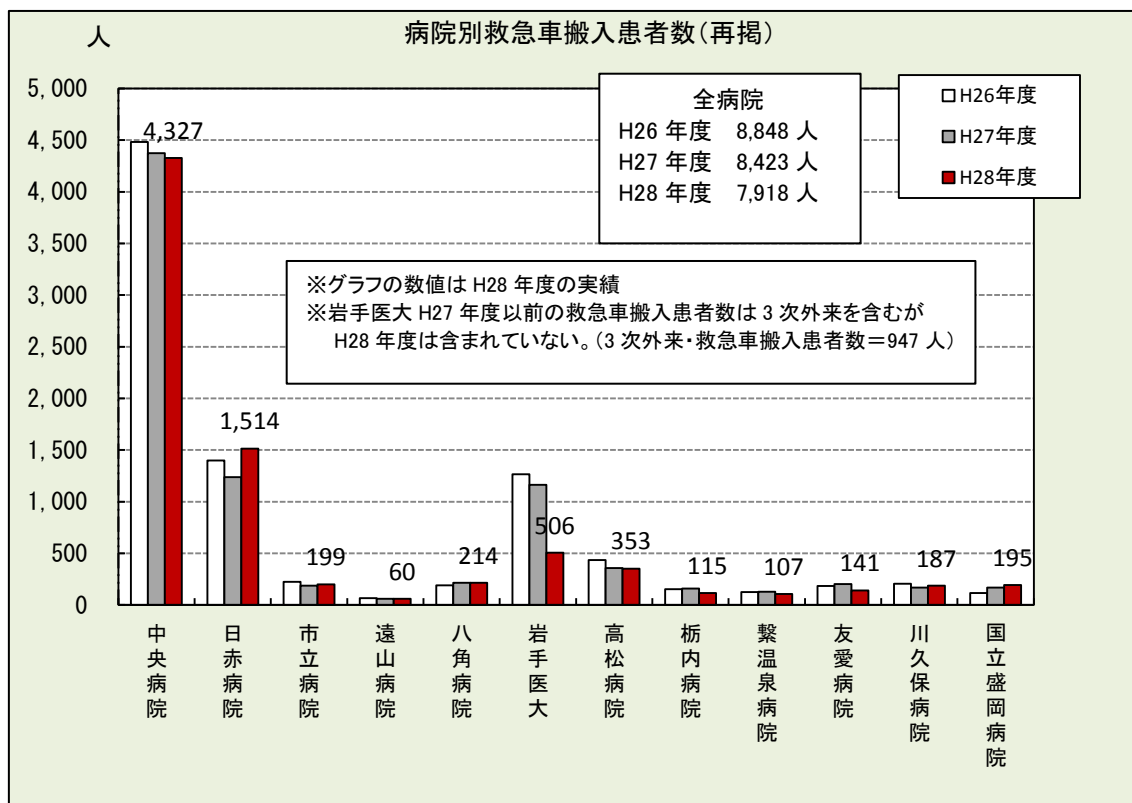


データ：盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より

盛岡地区二次救急病院救急患者数（救急車含）



データ：盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より



データ：盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より

### Ⅲ 盛岡赤十字病院の現状と課題

#### 1 基本理念

基本理念
人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します
基本方針
「患者さん中心の医療」の実現のために取り組みます
重点事項
「患者さんに選ばれる病院」、「良質な医療の提供」、「救急医療と災害医療の充実」、「地域との連携強化」、「職員の協調と健全経営」

当院は昭和62年に現在地に移転新築以来、地域の中核病院として地域の医療ニーズに応えるべく業務を継続している。しかしながら、近年の医療制度改革や医療費抑制政策、更には岩手医科大学病院の矢巾町移転の影響等、医療環境の変化が現実のものとなり、その変化に対応した病院運営体制を構築しなければならない。地域中核の公的医療機関として、災害医療、救急医療、周産期医療等、地域医療への貢献度を更に高めるとともに、医療・介護・福祉の連携に努める方針である。特に周産期医療に関しては、当院は岩手県内トップの分娩取扱い件数を誇り、岩手県内全域に対する貢献度は高く、今後も維持する医療政策のひとつである。

また、全職員が自己研鑽に努め、安全で質の高い医療を誠実に提供し、患者さんから信頼される病院を目指すこととしている。医療の質向上に向けた体制整備としては特に、看護師の養成に関しては全国の赤十字医療施設に共通したキャリア開発ラダーシステムを導入し均一的な教育を実践するとともに、幹部看護師研修センター等での看護管理者、認定看護師・専門看護師等の育成や、看護実習の受入もおこなっている。

移転から30年が経過し、2020年（平成32年）4月には病院創立100周年をむかえる。病院の将来を見据えた場合、医療需要に的確に対応するとともに、医療環境の変化に順応し、安定した経営基盤の確立と病院運営体制の強化を目指すことに変わりはなく、それと並行し、公的医療機関として、岩手県地域医療構想の実現に向け積極的に取り組んでいく。

#### 2 当院の現状

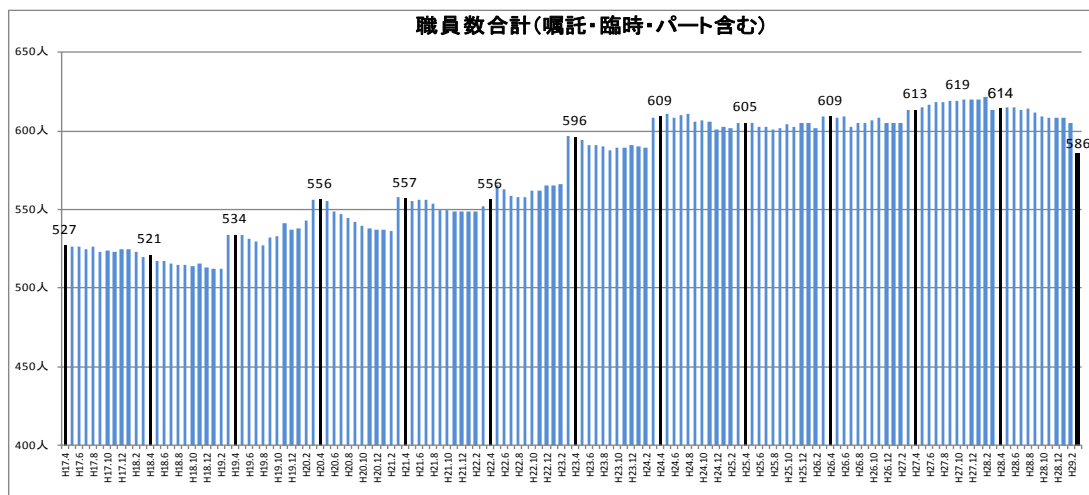
##### ①職員数

585人（平成29年4月1日現在・常勤嘱託臨時職員・パート職員含）

医師57人・看護職員349人（うち助産師51人）・薬剤師16人・臨床検査技師21人

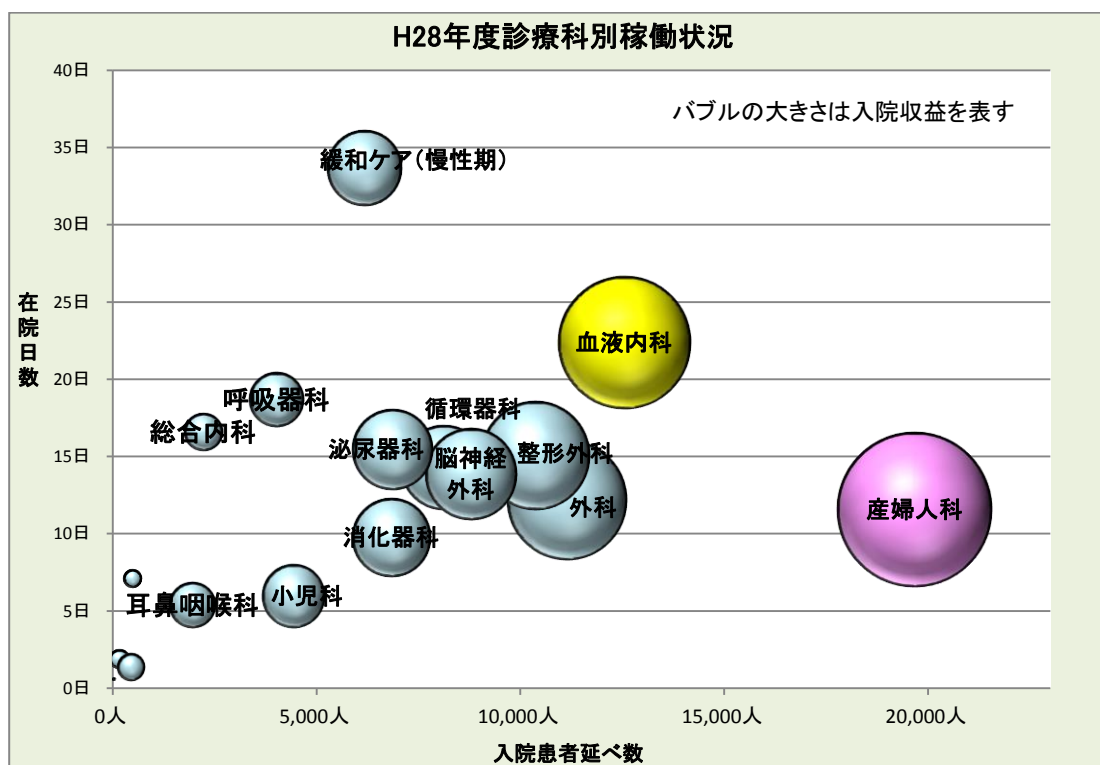
その他専門職員32人・事務職員66人・技術職員44人

〔日本看護協会登録〕 認定看護師11名在籍、認定看護管理者3名在籍



## ②病床機能

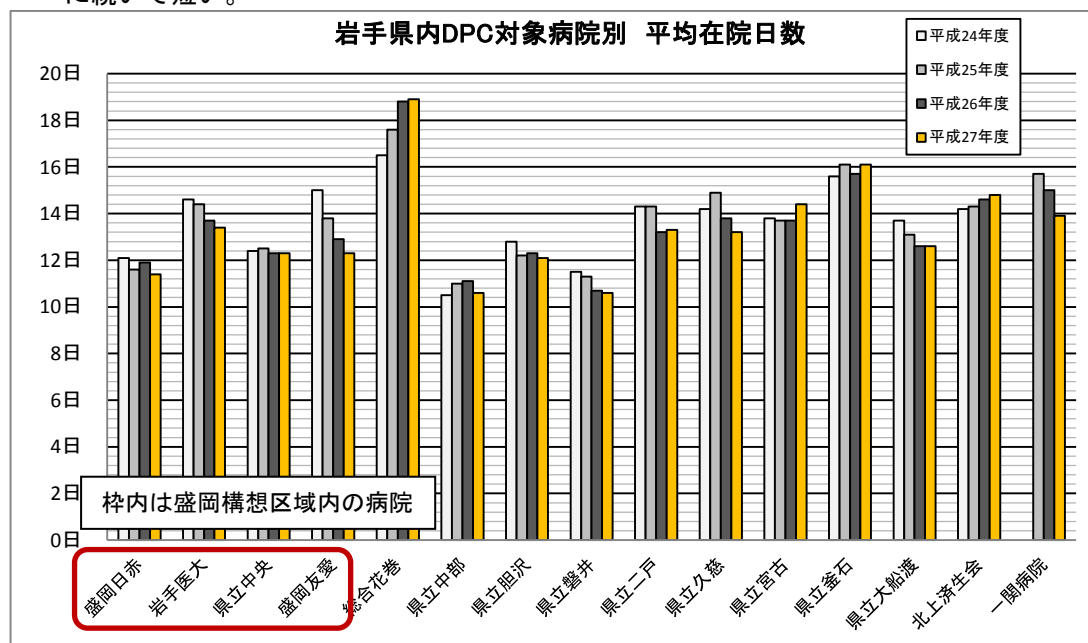
4 機能のうち急性期が中心 [急性期病床 364 床 慢性期 22 床（緩和ケア）]



## ③在院日数

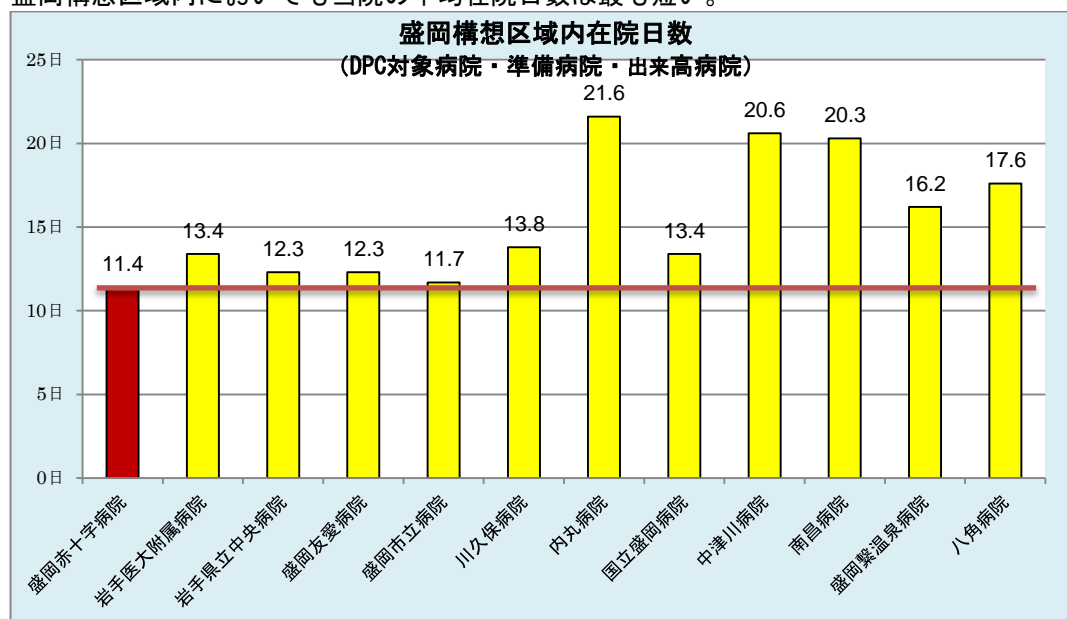
平成 28 年度の平均在院日数 一般病床 12.3 日 緩和ケア病床 33.7 日

平成 27 年度の当院の在院日数は岩手県内の DPC 対象病院のなかで、磐井病院、中部病院に続いて短い。



データ：厚生省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

盛岡構想区域内においても当院の平均在院日数は最も短い。



データ：厚生省・中央社会保険医療協議会平成28年度第4回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

#### ④災害医療

[平成23年3月11日発生 東日本大震災対応]

- ・岩手県における赤十字医療チームの主な活動地域と期間（当院含む）  
 岩手県消防学校 SCU 3/11～3/13 花巻空港 SCU (DMAT) 3/12～3/16  
 県立大船渡病院 (DMAT・当院医師) 3/12～3/17 陸前高田市 3/12～7/30  
 久慈市、宮古市 3/13～3/14 山田町 3/14～5/26 大槌町、釜石市 3/13～6/19
- ・当院の医療救護班派遣  
 医療救護活動班数 98班 延べ人数 653名 3/11～10/14  
 【医師 127名 看護師 258名 薬剤師 66名 主事（医療技術部職員含む）202名】  
 こころのケア活動班数 67班 延べ人数 170名 3/24～8/9  
 【看護師 122名 保健師 5名 社会福祉士 5名 主事 38名】
- ・盛岡市内 避難所生活者への当院医師による健康相談 3/22～6/27 計 41回  
 花巻空港・岩手県消防学校SCUを経由して搬送された患者の受入先上位

受入機関名（受入数順）	受入数	所在地
盛岡赤十字病院	191	盛岡市
県立中部病院	25	北上市
総合花巻病院	25	花巻市
岩手医大附属花巻温泉病院	22	〃
県立中央病院	20	盛岡市
岩手医大附属病院	12	〃
北上済生会病院	11	北上市
県立胆沢病院	9	奥州市
盛岡友愛病院	9	盛岡市
盛岡友愛病院	5	盛岡市

H23年9月21日岩手県災害拠点病院連絡協議会資料より

[平成28年4月14日～16日発生 熊本地震災害対応]

- ・当院医療救護班派遣 熊本赤十字病院救命救急センター、西原村、益城町で活動  
 医療救護活動班数 2班 延べ人数 14名 4/19～5/6  
 【医師 2名 看護師 6名 薬剤師 2名 主事 4名】  
 病院医療支援派遣 【医師 1名 看護師 1名】

[平成28年8月末の台風10号災害対応]・・・消防学校SCUに救護班派遣、傷病者受入。  
・ 当院への搬送患者入院延べ人数458人（平成28年9月）

[当院の常備災害救護班]・・・8班

- ・ 派遣実績 東日本大震災 熊本地震等
- ・ 災害救護訓練実績 岩手県総合防災訓練・盛岡市総合防災訓練  
日本赤十字社第1ブロック合同災害救護訓練

## ⑤救急医療

第二次救急医療指定病院として岩手県内全域から救急患者を受入。

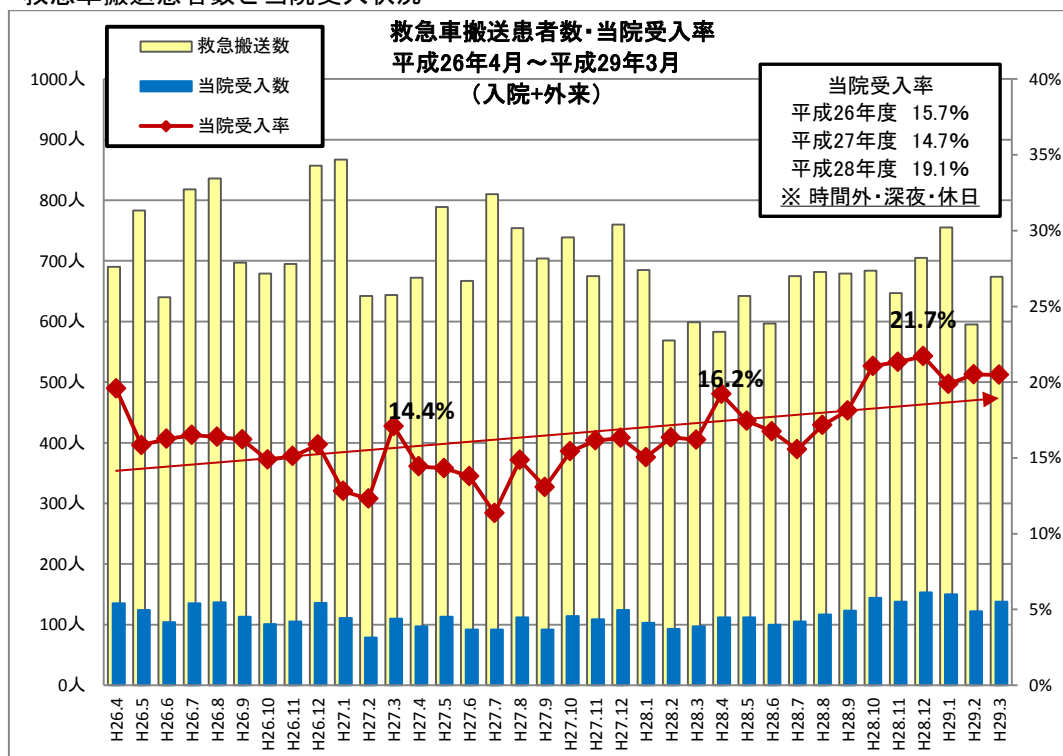
盛岡構想区域内の救急車搬送患者数は施設合計で減少傾向にあるが、平成28年度の当院の平日時間外・休日・深夜の救急車搬送患者数は前年より増加した。

二次救急患者病院別動態（H26年～H28年）

※病院名は略称・日赤病院＝盛岡赤十字病院

病 院 名	①外来患者数			②入院患者数			③総 数			⑤再掲 救急車搬入患者数		
	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度
中 央 病 院	14,103	14,208	13,169	4,030	3,749	3,577	18,133	17,957	16,746	4,482	4,375	4,327
日 赤 病 院	6,254	5,735	5,278	1,533	1,278	1,425	7,787	7,013	6,703	1,399	1,238	1,514
市 立 病 院	700	658	636	235	187	185	935	845	821	226	187	199
遠 山 病 院	361	276	388	71	85	63	432	361	451	68	60	60
八 角 病 院	2,965	2,478	2,294	119	171	200	3,084	2,649	2,494	189	214	214
岩 手 医 大	20,845	19,318	18,087	1,148	1,300	1,228	21,993	20,618	19,315	1,267	1,165	506
高 松 病 院	1,390	1,261	1,235	206	162	176	1,596	1,423	1,411	435	357	353
橋 内 病 院	579	742	484	80	83	53	659	825	537	152	158	115
繁 温 泉 病 院	431	410	392	125	143	116	556	553	508	126	129	107
友 愛 病 院	1,193	1,123	988	173	130	116	1,366	1,253	1,104	184	202	141
川 久 保 病 院	1,969	2,377	2,127	160	175	148	2,129	2,552	2,275	205	169	187
国立盛岡病院	414	407	461	102	127	160	516	534	621	115	169	195
合 計	51,204	48,993	45,539	7,982	7,590	7,447	59,186	56,583	52,986	8,848	8,423	7,918

救急車搬送患者数と当院受入状況



※盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より

H27年度までの救急車搬入患者数には岩手医大の3次外来を含む。H28年度は含まれない。

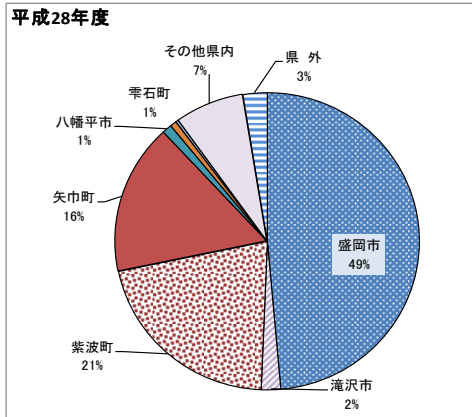
(3次外来・救急車搬入患者数＝947人)

## 地域別救急患者数について

盛岡構想区域内の二次救急病院救急患者の約90%は区域内居住者である。当院においても同程度の割合となっている。当院の立地が区域内南部（旧紫波郡）に位置することもあり、紫波町及び矢巾町（両町は現紫波郡）居住の患者が多い。一方で、盛岡医療構想区域外の患者も受入しており、割合は県内・県外併せて10%を占め、181人を受入した。

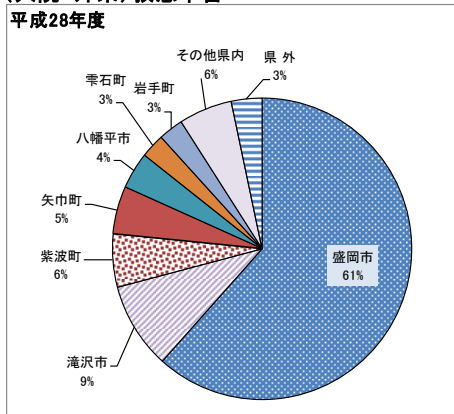
当院の地域別救急患者（入院・外来）救急車含

	平成27年度	平成28年度
盛岡市	529	642
滝沢市	23	23
紫波町	331	393
矢巾町	226	249
八幡平市	8	13
雫石	8	9
岩手町	10	4
その他県内	78	131
県外	25	50
合 計	1,238	1,514



盛岡地区二次救急病院地域別救急患者（入院・外来）救急車含

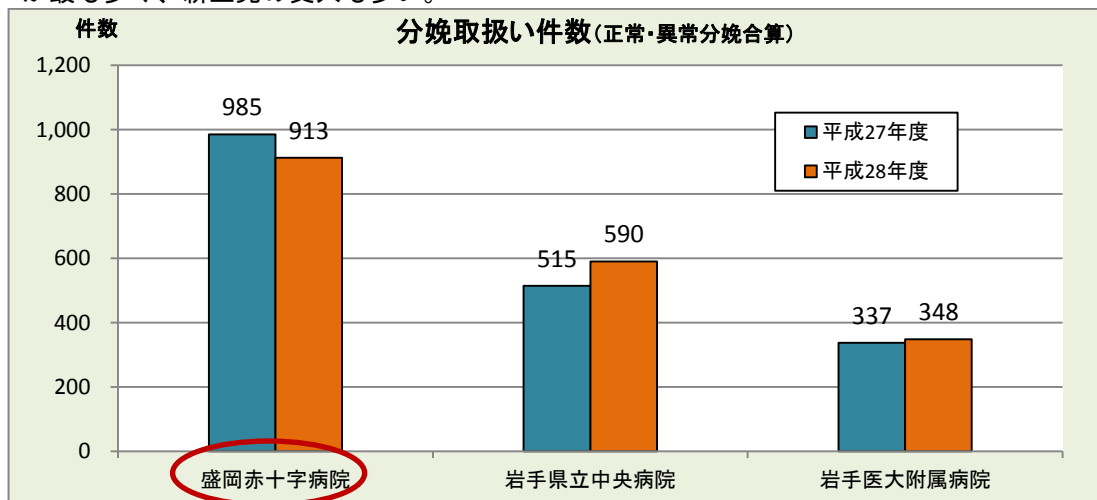
	平成27年度	平成28年度
盛岡市	34,937	32,631
滝沢市	5,279	4,926
紫波町	3,323	3,021
矢巾町	2,907	2,714
八幡平市	2,107	2,092
雫石町	1,514	1,377
岩手町	1,436	1,421
その他県内	3,106	3,054
県外	1,974	1,750
合 計	56,583	52,986



データ：盛岡市医師会・盛岡地区二次救急医療対策委員会・常任委員会資料より

## ⑥小児・周産期医療

当院は地域周産期母子医療センターの認可を受けており、岩手県内において分娩取扱い件数が最も多く、新生児の受入も多い。





当院の診療科別においても、産婦人科は入院患者数と入院収益が最も多い。  
平成28年度産婦人科の入院患者延べ数は19,659人、構想区域圏内への貢献度は高い。

平成28年度の主な診療実績（診療科別・診断群分類別の主な入院患者数60人以上）

診療科	DPC名称	患者数	平均 在院日数	転院率
産婦人科	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	265	11.28	0
血液内科	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 4あり 副傷病なし	177	16.46	0
産婦人科	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	144	11.04	0
小児科	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重 2500g以上）手術なし手術・処置等2なし副傷病なし	113	4.59	0
循環器科	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし 副傷病なし	112	19.08	14.29
整形外科	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	111	20.95	80.18
脳神経外科	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手 術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり 副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	90	16.58	48.89
産婦人科	分娩の異常 子宮破裂手術等	88	11.9	0
産婦人科	早産、切迫早産 手術なし 手術・処置等2なし	83	26.82	6.02
小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その 他）副傷病なし	80	4.65	0
小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	74	3.64	0
循環器科	狭心症 慢性虚血性心疾患 手術なし手術・処置等1 1あ り 手術・処置等2なし 副傷病なし	72	3.78	0
呼吸器科	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	66	21.24	42.42
小児科	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重 1500g以上2500g未満）手術なし 手術・処置等2なし	62	14.63	1.61

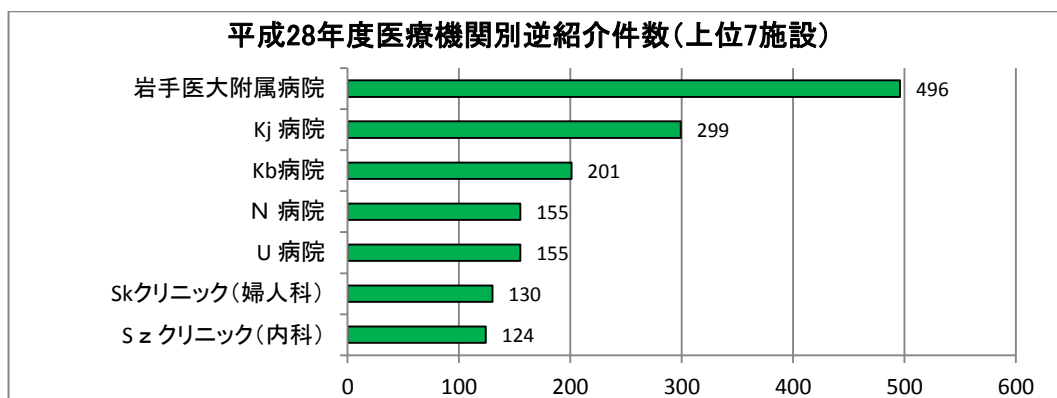
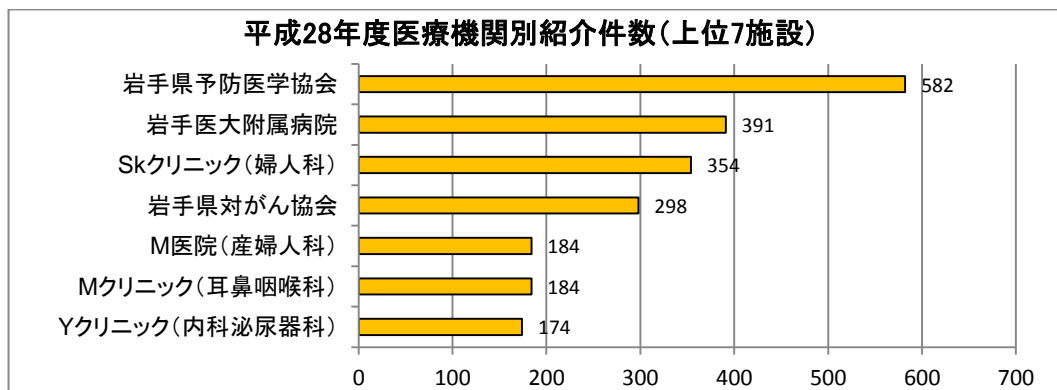
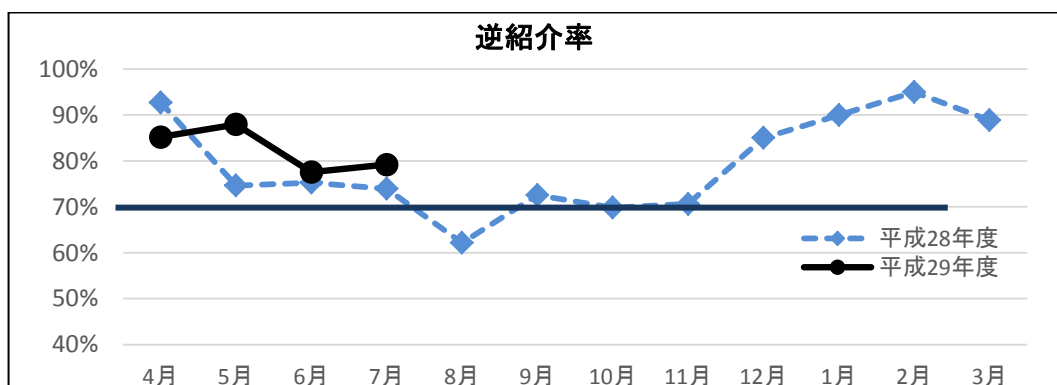
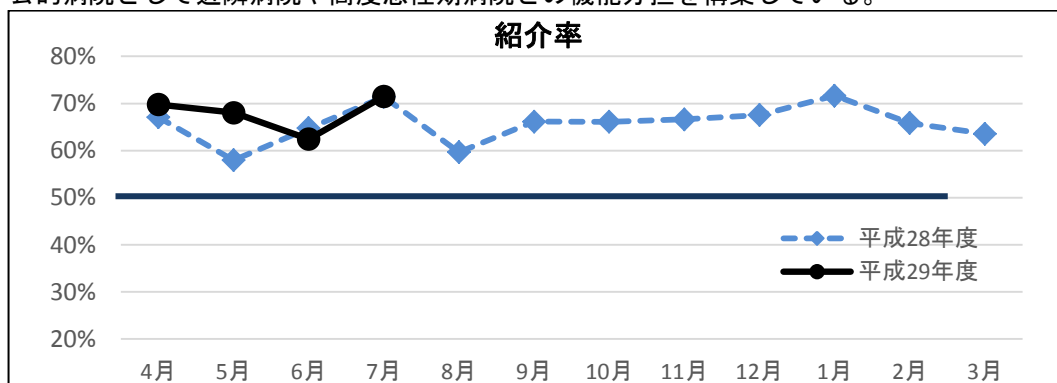
平成28年度の産婦人科主要手術別患者数（患者数上位）

上位は産科の帝王切開術である。異常分娩による診療所からの救急搬送にも対応している。

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	249	4.78	8.82	0.00	32.99
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	166	3.04	9.21	0.00	32.39
K877	子宮全摘術	104	1.13	9.67	0.00	47.79
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側） （開腹）	61	1.23	8.97	0.00	46.84
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術 （腹式）	54	1.43	8.76	0.00	36.98

⑦地域医療連携

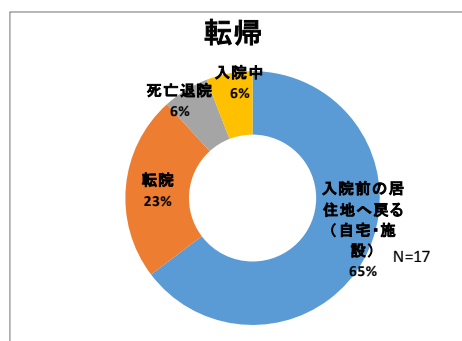
平成 28 年に地域医療支援病院の指定を受けた。紹介率 65.6% 逆紹介率 78.2%  
公的病院として近隣病院や高度急性期病院との機能分担を構築している。



平成 28 年度在宅療養後方支援病院としての入院受入れ状況  
在宅医療を担い推進するため患者の後方受入をおこなっている

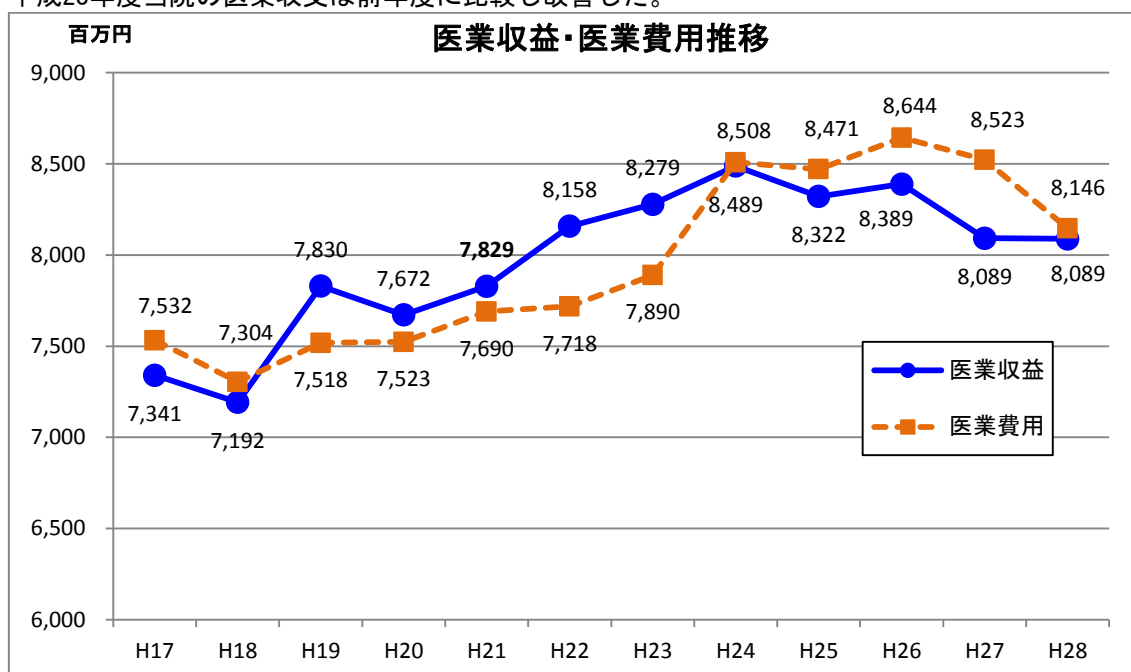
登録状況

	登録患者数	当院からの 紹介患者数	入院患者数 (のべ)	入院断り 件数	登録終了・ 中止患者数
MOクリニック	79	29	13	1	43
MM病院	47	9	4	0	34
その他開業医	3	0	0	0	4
計	129	38	17	1	81



### ⑧その他

平成28年度当院の医業収支は前年度に比較し改善した。



[平成 28 年度看護実習受入延べ人数]

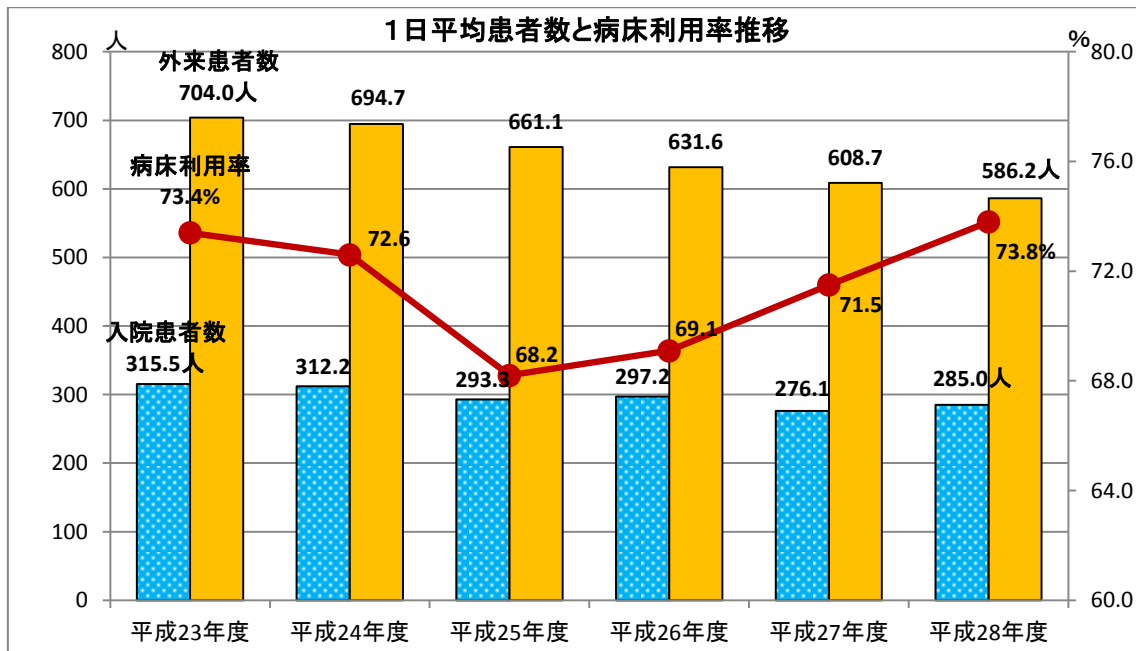
岩手県立大学看護学部 943 名、岩手看護短期大学 806 名、盛岡准看護学院 263 名、日本赤十字社秋田看護大学 162 名など、多数の実習生を受入している。

### 3 患者状況

外来患者数、入院患者数ともに平成 23 年度以降減少傾向にある。平成 28 年度の入院患者数は前年比較で増加した。病床利用率は平成 25 年度及び平成 26 年度に 70%を割り込んだが平成 28 年度は 73.8%へ増加した。平成 27 年度より 44 床を休床している。

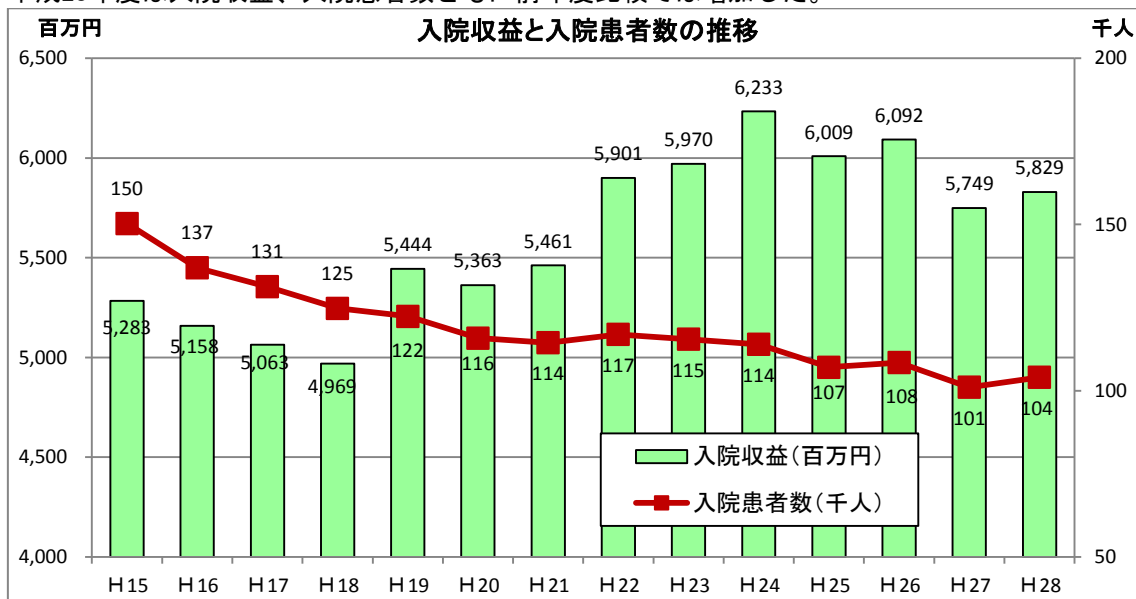
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年増減
入院延べ患者数(人)	115,475	113,960	107,062	108,481	101,050	104,018	2,968
1日平均入院患者数	315.5	312.2	293.3	297.2	276.1	285.0	8.9
入院診療単価(円)	51,698	54,696	56,122	56,158	56,888	56,038	-850
病床利用率(%)	73.4	72.6	68.2	69.1	71.5	73.8	2.3
外来延べ患者数(人)	171,768	169,514	160,657	153,487	147,298	142,443	-4,855
1日平均外来患者数	704.0	694.7	661.1	631.6	608.7	586.2	-22.5
外来診療単価(円)	11,380	11,407	12,373	12,803	13,600	13,586	-14

※病床利用率: H26年度までは病床数430床、H27年度以降病床数386床にて算出。

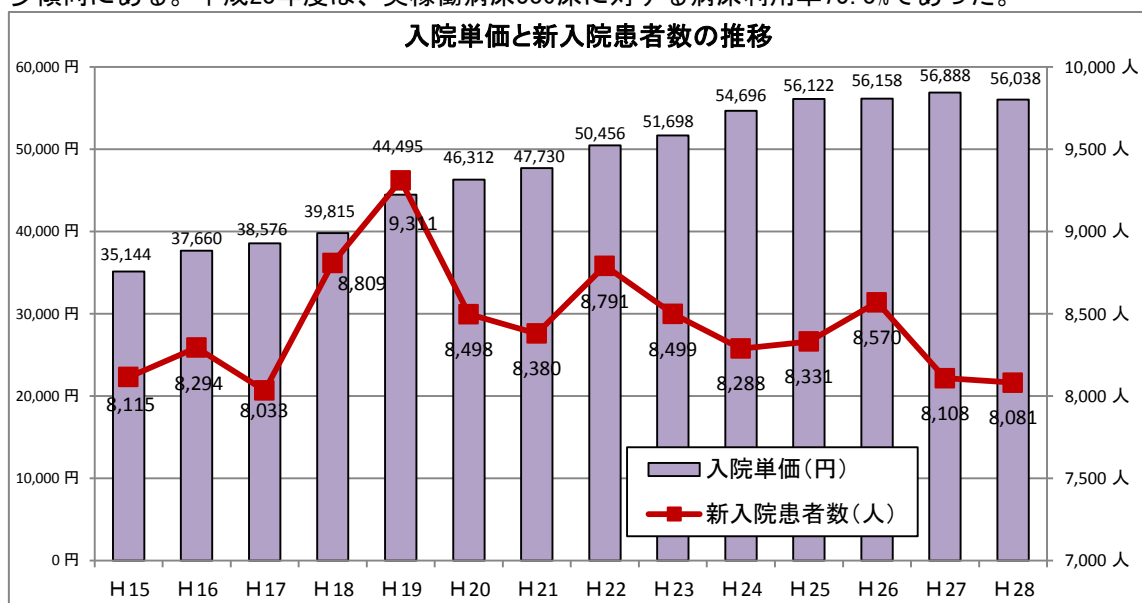


入院収益は平成18年のDPC適用以降増加したが、入院患者数の減少傾向が続いた。

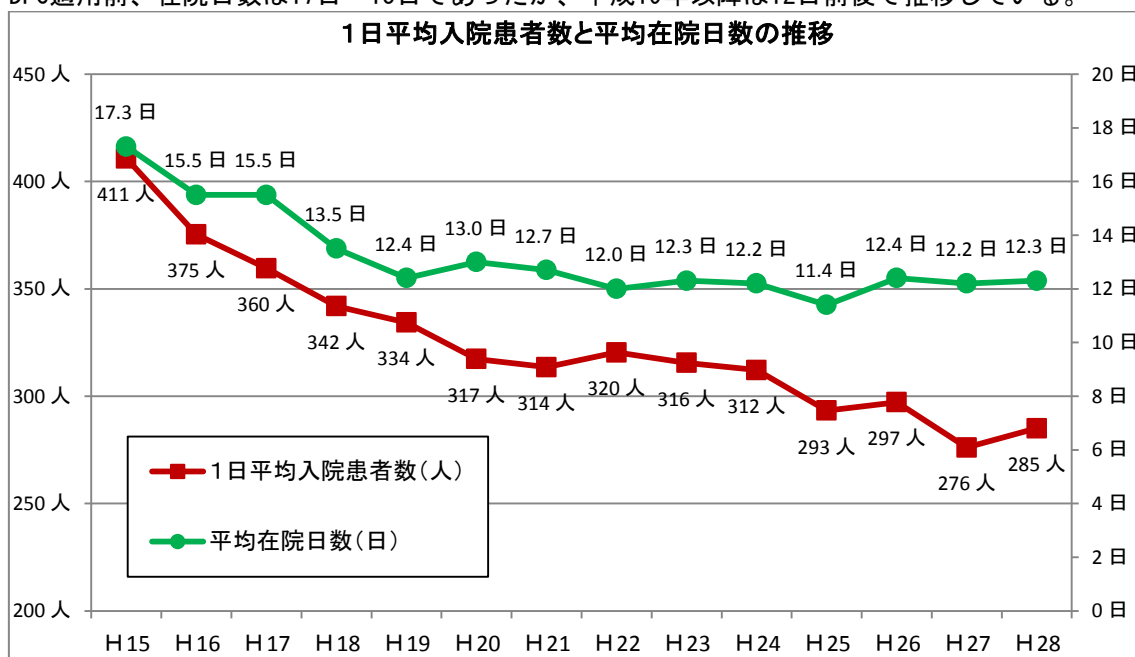
平成28年度は入院収益、入院患者数ともに前年度比較では増加した。



入院単価は平成27年度までは増加したものの、平成28年度は減少した。新入院患者数はやや減少傾向にある。平成28年度は、実稼働病床386床に対する病床利用率73.8%であった。



DPC適用前、在院日数は17日～15日であったが、平成19年以降は12日前後で推移している。



#### 4 今後の課題

地域の医療需要の減少が見込まれること、及び岩手医科大学付属病院の移転による機能のすみわけが不透明であることから、当面現状の診療体制を維持する方針である。

#### IV. 今後の方針

##### 1 地域において今後担うべき役割

###### 災害救護・災害支援

東日本大震災や、平成 28 年 4 月の熊本地震発生後、災害救護班として当院から職員を派遣し、その後の災害支援として医師業務、看護師業務活動及び健康支援業務の活動も行なった。また、平成 28 年 8 月末の台風 10 号による被災地の岩泉町から緊急消防援助隊によるヘリ搬送傷病者の受入支援活動を行ない、基幹災害拠点病院としての役割を果たしている。今後も行政機関との連携強化と医療救護訓練の実施を継続する。当院にとって災害救護支援活動は今後も期待される大きな役割のひとつである。

###### 救急医療

救急告示病院として、盛岡保健医療圏内をはじめ、岩手中部、宮古保健医療圏からの救急搬送患者の受入れ要請にも対応し、救急医療に尽力する。

###### 地域医療連携

平成28年10月に地域医療支援病院の承認を受けた。今後は、更に連携医療機関、福祉施設等と連携強化を図ることとし、在宅療養後方支援病院としての入院受入れ等により、地域に必要とされる医療機関であることを維持する。

尚、平成28年10月の地域医療支援病院承認後、紹介率・逆紹介率は高値を維持し、退院患者の在宅復帰を支援する総合患者支援センター（地域医療連携室）の更なる機能強化も図っていく。

###### 小児・周産期医療

小児科、産婦人科の退院患者数は当院構成比であわせて30%を超える。また、岩手県内の分娩件数において当院の件数はトップで平成28年度は913件であった。地域周産期母子医療センターとしての役割と診療体制を維持する。

当院の周産期電子カルテシステム及び超音波画像伝導システムは岩手県周産期医療情報ネットワークに接続しており、ICTを活用した地域医療情報ネットワークの構築による地域医療機関との機能分担と連携強化に十分な役割を果たしている。

##### 2 今後持つべき病床機能

今後、岩手医科大学付属病院の移転開業が当院の稼働に大きく影響するものと予想される。今後の病床利用率と医療需要を加味しつつ、現在の急性期病床及び慢性期病床（緩和ケア病床）と病床数を維持するが、休床中の病床（44床）の再稼働については未定である。

##### 3 その他見直すべき点

当院の平成28年度病床利用率は前年比増加の73.8%となったが、盛岡二次医療圏の医療機関全体の病床利用率は低下傾向である。

当院は休床を実施しているが、医療需要推移を加味し、今後も適正病床規模について検討していく。

## V 具体的な計画

### 1 4機能ごとの病床のあり方について

現在の病床機能を 2025 年度まで維持する計画である。

	現在 (平成 28 年度病床機能報告)		将来 (2025 年度)
高度急性期	—	→	—
急性期	364 床		364 床
回復期	—		—
慢性期	22 床		22 床
(合計)	386 床		386 床

病床数は稼働病床にて記載

### <年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017 年度	岩手県地域医療調整会 議開催内容の確認	本プランの策定	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;">           2 年 間 程 度 で 集 中 的 な 検 討 を 促 進         </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: orange; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">             第 7 期 介護保険 事業計画           </div> <div style="background-color: lightgreen; padding: 10px; text-align: center;">             第 7 次 医 療 計 画           </div> </div> </div>
2018 年度	岩手県地域医療調整会 における合意形成にむ けた検討	岩手県地域医療調整会 における当院の病床の あり方に関し合意を得 る	
2019～2020 年度		岩手県地域医療構想の 病床機能の変更に対応 する	
2021～2023 年度			

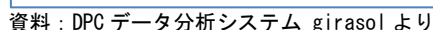
### 3 その他の数値目標について

育成費用＝研究研修費

## 1 経営計画について

当院も本社事業計画に則した3ヶ年中期経営計画[2017年—2020年]を策定し、今後も経営効率と収支改善を図りつつ、良質な医療の提供をおこない、地域における役割を全うしていく方針である。

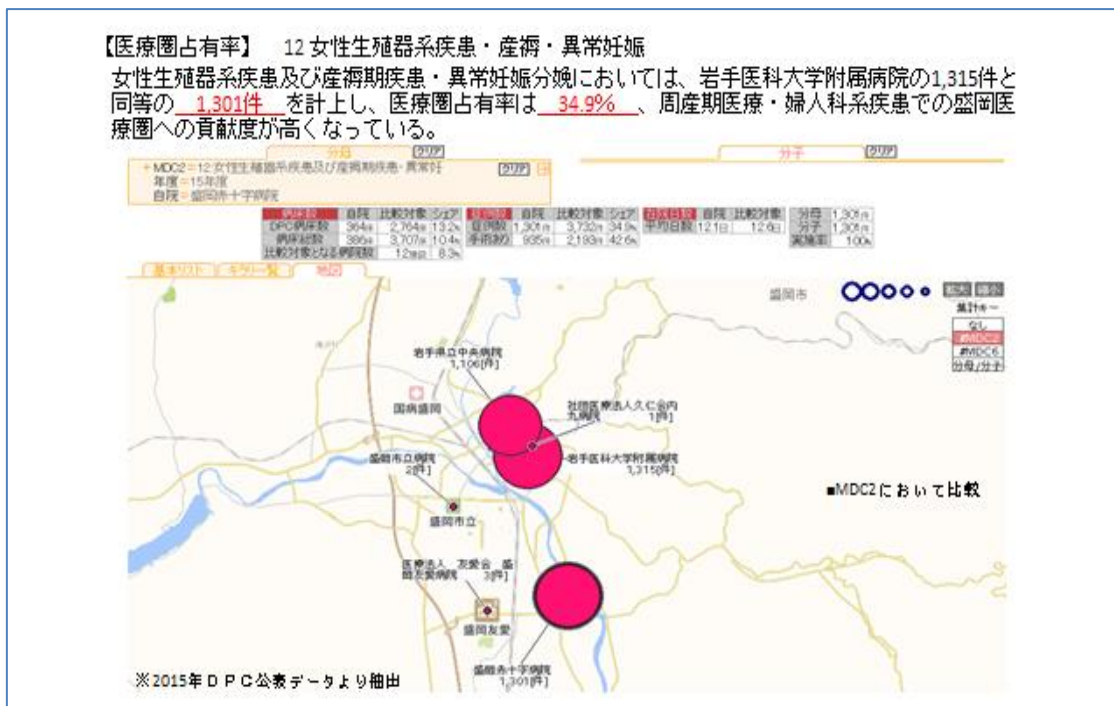
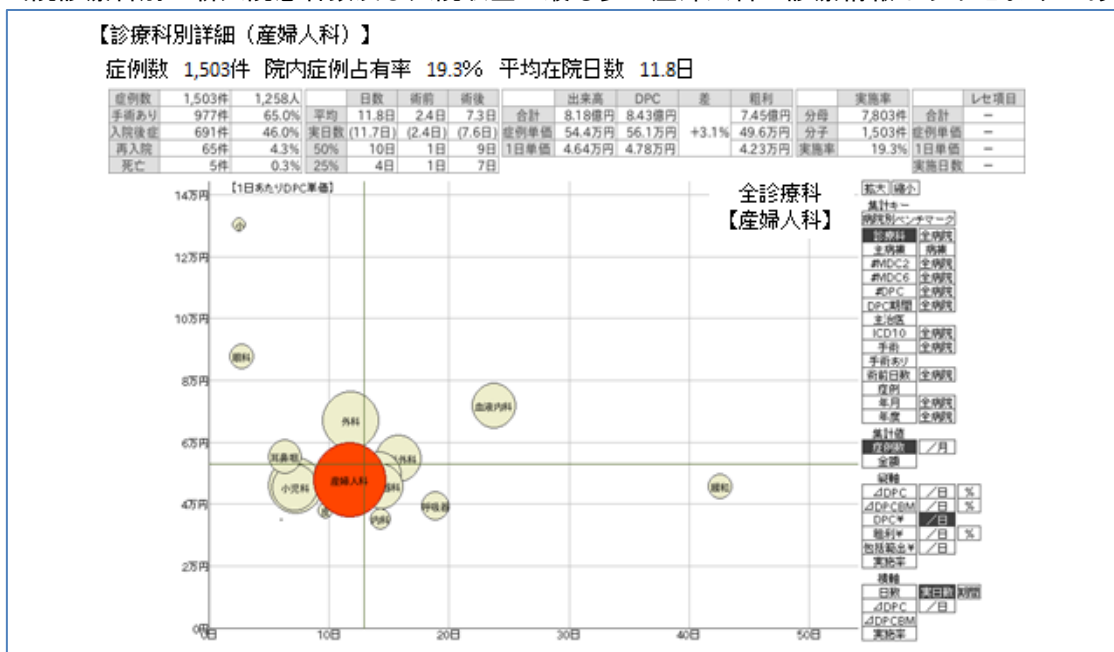
## 2 当院の症例数・平均在院日数（2016 年度）について





### 3 産婦人科医療圏状況について

当院診療科別の新入院患者数及び入院収益が最も多い産婦人科の診療情報は以下とおりである。





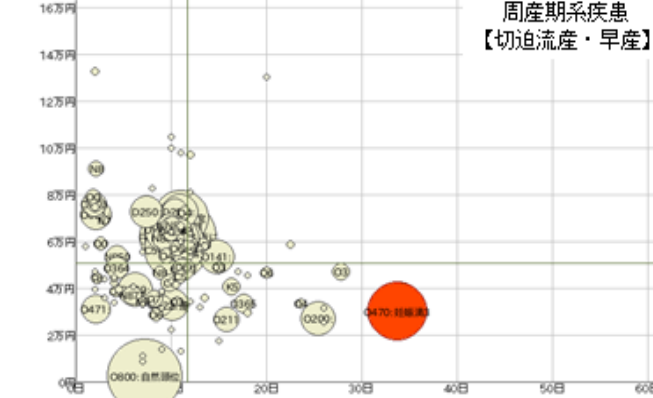
【ICD10】 O470 妊娠満37週未満の偽陣痛

産婦人科で2番目に多いICD10

症例数 92件 平均在院日数 33.2日

症例数	92件	89人	日数	前年	前後	出来高	DPC	差	総計	実施率	合計	レセ項目
手術あり	18件	19.6%	平均	33.2日	27.3日	8.9日	合計	8,628万円	9,382万円		分母	1,503件
入院後症	61件	66.3%	実日数	(33.7日)	(27.3日)	(8.9日)	症例単価	93.8万円	102万円	+8.7%	分子	92件
再入院	5件	5.4%	50%	29日	23日	9日	1日単価	2.78万円	3.02万円		1日単価	—
死亡	0件	0.0%	25%	12日	12日	8日					実施率	6.1%
											実施日数	—

【1日あたりDPC単価】



周産期系疾患  
【切迫流産・早産】

【基本】(備考)

集計キー	集計項目	全例数
診療科	産婦人科	全例数
手術あり	手術あり	全例数
入院後症	入院後症	全例数
再入院	再入院	全例数
死亡	死亡	全例数
ICD10	O470	全例数
手術あり	手術あり	全例数
入院後症	入院後症	全例数
再入院	再入院	全例数
死亡	死亡	全例数
年度	年度	全例数

集計項目

診療科

手術あり

入院後症

再入院

死亡

ICD10

手術あり

入院後症

再入院

死亡

年度

※自然分娩分は除外する。

資料：DPC データ分析システム girasol より

【医療圏占有率】 120170 早産、切迫早産

切迫流産・早産においては、岩手県立中央病院（110件）、岩手医科大学附属病院（93件）とほぼ同等の 90件 実施しており、占有率は 30.7% となっている。

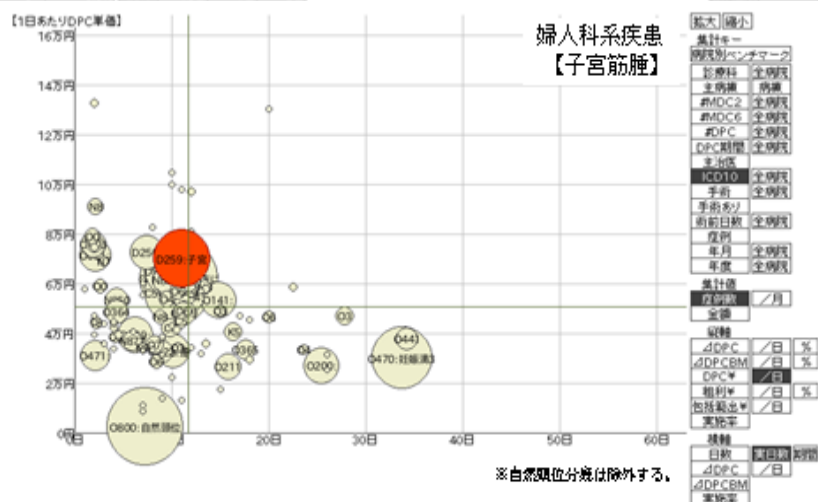


※2015年DPC公表データより抽出

資料：DPC データ分析システム girasol より

産婦人科で3番目に多いICD10

症例数	81件	80人	日数	術前	術後	合計	出来高	DPC	差	粗利	実施率	合計	レセ項目
手術後	79件	77.5%	平均	11.0日	10日	9.2日	6,121万円	6,265万円		5,660万円	1,503件	—	
入院後	66件	81.5%	末日数	(11.0日)	(1.0日)	(9.2日)	81例単価	75.6万円	77.3万円	+2.4%	分母	81例	81例単価
再入院	0件	0.0%	50%	11日	1日	9日	1日単価	6.86万円	7.02万円		分子	81例	1日単価
死亡	0件	0.0%	25%	10日	1日	8日				6.34万円	実施率	5.4%	実施日数



資料：DPC データ分析システム girasol より

子宮の良性腫瘍においては、岩手県立中央病院（134件）、岩手医科大学附属病院（58件）よりも多い 169件 実施しており、占有率は医療圏最大の 46.8% となっている。



資料：DPC データ分析システム girasol より